

Inspiron 5482

サービスマニュアル



メモ、注意、警告

① | **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

△ | **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。

⚠ | **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2018 Dell Inc. またはその子会社。無断転載を禁じます。Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

1 コンピュータ内部の作業を始める前に	8
作業を開始する前に	8
2 コンピュータ内部の作業を終えた後に	9
3 安全にお使いいただくために	10
ESD (静電気放出) 保護.....	10
ESD フィールドサービスキット	11
ESD フィールドサービスキットのコンポーネント.....	11
ESD 保護の概要	11
敏感なコンポーネントの輸送.....	12
装置の持ち上げ	12
4 推奨ツール	13
5 ネジのリスト	14
6 ベースカバーの取り外し	15
手順.....	15
7 ベースカバーの取り付け	17
手順.....	17
8 バッテリーの取り外し	19
前提条件.....	19
手順.....	19
9 バッテリーの取り付け	21
手順.....	21
作業を終えた後に.....	22
10 コイン型電池の取り外し	23
手順.....	23
11 コイン型電池の取り付け	24
手順.....	24
12 メモリモジュールの取り外し	25
前提条件.....	25
手順.....	25
13 メモリモジュールの取り付け	26
手順.....	26

作業を終えた後に.....	27
14 ソリッドステートドライブ/インテル Optane メモリ モジュールの取り外し.....	28
前提条件.....	28
手順.....	28
15 ソリッドステートドライブ/インテル Optane メモリ モジュールの取り付け.....	30
手順.....	30
作業を終えた後に.....	30
16 ハードドライブの取り外し.....	31
前提条件.....	31
手順.....	31
17 ハードドライブの取り付け.....	33
手順.....	33
作業を終えた後に.....	34
18 ヒートシンクの取り外し.....	35
前提条件.....	35
手順.....	35
19 ヒートシンクの取り付け.....	36
手順.....	36
作業を終えた後に.....	36
20 ファンの取り外し.....	37
前提条件.....	37
手順.....	37
21 ファンの取り付け.....	38
手順.....	38
作業を終えた後に.....	38
22 スピーカーの取り外し.....	39
前提条件.....	39
手順.....	39
23 スピーカーの取り付け.....	40
手順.....	40
作業を終えた後に.....	40
24 I/O ボードの取り外し.....	41
前提条件.....	41
手順.....	41

25 I/O ボードの取り付け	42
手順.....	42
作業を終えた後に.....	42
26 電源アダプタポートの取り外し	43
前提条件.....	43
手順.....	43
27 電源アダプタポートの取り付け	44
手順.....	44
作業を終えた後に.....	44
28 ワイヤレスカードの取り外し	45
前提条件.....	45
手順.....	45
29 ワイヤレスカードの取り付け	47
手順.....	47
作業を終えた後に.....	47
30 ディスプレイアセンブリの取り外し	48
前提条件.....	48
手順.....	48
31 ディスプレイアセンブリの取り付け	50
手順.....	50
作業を終えた後に.....	51
32 指紋認証リーダー内蔵電源ボタンの取り外し	52
前提条件.....	52
手順.....	52
33 指紋認証リーダー内蔵電源ボタンの取り付け	53
手順.....	53
作業を終えた後に.....	53
34 システム基板の取り外し	54
前提条件.....	54
手順.....	54
35 システム基板の取り付け	57
手順.....	57
作業を終えた後に.....	59
36 タッチパッドの取り外し	60

前提条件.....	60
手順.....	60
37 タッチパッドの取り付け.....	62
手順.....	62
作業を終えた後に.....	63
38 パームレストとキーボードアセンブリの取り外し.....	64
前提条件.....	64
手順.....	64
39 パームレストとキーボードアセンブリの取り付け.....	66
手順.....	66
作業を終えた後に.....	66
40 デバイスドライバ.....	68
Intel チップセットソフトウェアインストールユーティリティ.....	68
ビデオドライバ.....	68
Intel シリアル IO ドライバ.....	68
Intel シリアル IO ドライバ.....	68
Intel Trusted Execution Engine インタフェース.....	68
Intel Virtual Button ドライバ.....	68
ワイヤレスおよび Bluetooth ドライバ.....	68
41 セットアップユーティリティ.....	70
起動順序.....	70
ナビゲーションキー.....	70
BIOS の概要.....	70
BIOS セットアッププログラムの起動.....	71
セットアップユーティリティのオプション.....	71
CMOS 設定のクリア.....	76
BIOS (システム セットアップ) パスワードとシステム パスワードのクリア.....	76
42 トラブルシューティング.....	77
BIOS のフラッシュ.....	77
BIOS のフラッシュ (USB キー)	77
ePSA (強化された起動前システムアセスメント) 診断.....	77
ePSA 診断の実行.....	78
診断.....	78
インテル Optane メモリの有効化.....	79
Intel Optane メモリの無効化.....	79
Wi-Fi 電源の入れ直し.....	79
待機電力の放出.....	80
43 「困ったときは」と「デルへのお問い合わせ」.....	81
セルフヘルプリソース.....	81

デルへのお問い合わせ..... 81

コンピュータ内部の作業を始める前に

① | **メモ:** 本書の画像は、ご注文の構成によってお使いのコンピュータと異なる場合があります。

作業を開始する前に

- 1 開いているファイルはすべて保存して閉じ、実行中のアプリケーションはすべて終了します。
- 2 コンピュータをシャットダウンします。スタート >  電源 > シャットダウン の順にクリックします。
① | **メモ:** 他のオペレーティングシステムを使用している場合は、お使いのオペレーティングシステムのシャットダウン方法に関するマニュアルを参照してください。
- 3 コンピュータおよび取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから外します。
- 4 キーボード、マウス、モニターなど取り付けられているすべてのネットワークデバイスや周辺機器をコンピュータから外します。
- 5 すべてのメディアカードと光ディスクをコンピュータから取り外します (取り付けられている場合)。

コンピュータ内部の作業を終えた後に

△ | **注意:** コンピュータ内部にネジが残っていたり、緩んでいたりとすると、コンピュータに深刻な損傷を与える恐れがあります。

- 1 すべてのネジを取り付けて、コンピュータ内部に外れたネジが残っていないことを確認します。
- 2 コンピュータでの作業を始める前に、取り外したすべての外付けデバイス、周辺機器、ケーブルを接続します。
- 3 コンピュータでの作業を始める前に、取り外したすべてのメディアカード、ディスク、その他のパーツを取り付けます。
- 4 コンピュータ、および取り付けられているすべてのデバイスをコンセントに接続します。
- 5 コンピュータの電源を入れます。

安全にお使いいただくために

身体の安全を守り、コンピュータを損傷から保護するために、次の安全に関する注意に従ってください。

- ⚠ **警告:** コンピューター内部の作業を始める前に、お使いのコンピュータに付属しているガイドの安全にお使いいただくための注意事項をお読みください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの詳細については、規制順守ホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。
- ⚠ **警告:** コンピューターのカバーまたはパネルを開ける前に、すべての電源を外してください。コンピュータ内部の作業を終えた後は、電源コンセントを接続する前にカバー、パネル、およびネジをすべて取り付けてください。
- ⚠ **注意:** コンピュータの損傷を避けるため、平らで清潔な場所で作業を行うようにしてください。
- ⚠ **注意:** コンポーネントおよびカードは、損傷を避けるために端を持つようにしてください。ピンおよび接合部には触れないでください。
- ⚠ **注意:** 許可されている、あるいは Dell テクニカルサポートチームによって指示を受けた内容のトラブルシューティングと修理のみを行うようにしてください。デルが許可していない修理による損傷は、保証できません。製品に付属している「安全にお使いいただくための注意事項」、または www.dell.com/regulatory_compliance を参照してください。
- ⚠ **注意:** コンピュータ内部の部品に触れる前に、コンピュータ背面の金属部など塗装されていない金属面に触れて、身体の静電気を除去してください。作業中も、定期的に塗装されていない金属面に触れて、内蔵コンポーネントを損傷するおそれのある静電気を逃がしてください。
- ⚠ **注意:** ケーブルを外すときは、コネクタまたはコネクタのプルタブを持ち、ケーブル自身を引っ張らないでください。一部のケーブルのコネクタ部には、ロックタブや蝶ネジが付いています。該当するケーブルを外す際には、これらを外す必要があります。ケーブルを外すときは、コネクタピンを曲げないように、まっすぐ引き抜いてください。ケーブルを接続するときは、ポートとコネクタの向きが合っていることを確認してください。
- ⚠ **注意:** メディアカードリーダーに取り付けられたカードは、押して取り出します。

ESD (静電気放出) 保護

電気パーツを取り扱う際、ESD は重要な懸念事項です。特に、拡張カード、プロセッサ、メモリ DIMM、およびシステムボードなどの静電気に敏感なパーツを取り扱う際に重要です。ほんのわずかな静電気でも、断続的に問題が発生したり、製品寿命が短くなったりするなど、目に見えない損傷が回路に発生することがあります。省電力および高密度設計の向上に向けて業界が進化する中、ESD からの保護はますます大きな懸念事項となってきています。

最近のデル製品で使用されている半導体の密度が高くなっているため、静電気による損傷の可能性は、以前のデル製品よりも高くなっています。このため、以前承認されていたパーツ取り扱い方法の一部は使用できなくなりました。

ESD による障害には、「致命的」および「断続的」の 2 つの障害のタイプがあります。

- **致命的** – 致命的な障害は、ESD 関連障害の約 20 % を占めます。障害によりデバイスの機能が完全に直ちに停止します。致命的な障害の一例としては、静電気ショックを受けたメモリ DIMM が直ちに「No POST/No Video (POST なし/ビデオなし)」症状を起こし、メモリが存在または機能しないことを示すビーブコードが鳴るケースが挙げられます。
- **断続的** – 断続的なエラーは、ESD 関連障害の約 80 % を占めます。この高い割合は、障害が発生しても、大半のケースにおいてすぐにはそれを認識することができないことを意味しています。DIMM が静電気ショックを受けたものの、トレースが弱まっただけで、外から見て分かる障害関連の症状はすぐには発生しません。弱まったトレースが機能停止するまでには数週間または数ヶ月かかることがあり、それまでの間に、メモリ整合性の劣化、断続的メモリエラーなどが発生する可能性があります。

認識とトラブルシューティングが困難なのは、「断続的」(「潜在的」または「障害を負いながら機能」とも呼ばれる) 障害です。

ESD による破損を防ぐには、次の手順を実行します。

- 適切に接地された、有線の ESD リストバンドを使用します。ワイヤレスの静電気防止用リストバンドの使用は、現在許可されていません。これらのリストバンドでは、適切な保護がなされません。パーツの取り扱い前にシャーシに触れる方法では、感度が増したパーツを ESD から十分に保護することができません。

- 静電気の影響を受けやすいすべてのコンポーネントは、静電気のない場所で扱います。可能であれば、静電気防止フロアパッドおよび作業台パッドを使用します。
- 静電気の影響を受けやすいコンポーネントを輸送用段ボールから取り出す場合は、コンポーネントを取り付ける準備ができるまで、静電気防止梱包材から取り出さないでください。静電気防止パッケージを開ける前に、必ず身体から静電気を放出してください。
- 静電気の影響を受けやすいコンポーネントを輸送する場合は、あらかじめ静電気防止コンテナまたは静電気防止パッケージに格納します。

ESD フィールドサービスキット

監視対象外フィールドサービスキットは、最も一般的に使用されているサービスキットです。各フィールドサービスキットには、静電気防止用マット、リストバンド、およびボンディングワイヤの 3 つの主要コンポーネントがあります。

ESD フィールドサービスキットのコンポーネント

ESD フィールドサービスキットのコンポーネントは次のとおりです

- **静電気防止用マット** - 静電気防止用マットは放電性のため、サービス手順の実行中に部品をその上に置いておくことができます。静電気防止用マットを使用するときは、リストバンドをびったりと付けて、マットと作業するシステムのベアメタルにボンディングワイヤを接続する必要があります。適切に配備できたら、サービスパーツを ESD 保護袋から取り出して直接マット上に置くことができます。ESD に敏感なアイテムは、手の中、ESD マット上、システム内、保護袋内では安全です。
- **リストバンドとボンディングワイヤ** - リストバンドとボンディングワイヤは、ESD マットが必要なればハードウェアのベアメタルと手首を直接つなぐことができます。または、静電気防止マットに接続して一時的にマット上にハードウェアを置き保護することもできます。リストバンドとボンディングワイヤで、肌、ESD マット、およびハードウェアを物理的に接続することをボンディングと言います。リストバンド、マット、およびボンディングワイヤのフィールドサービスキットのみ使用してください。ワイヤレスのリストバンドは使用しないでください。リストバンドの内部のワイヤは通常の摩耗や傷みから損傷を起こしやすいことを忘れないでください。偶発的な ESD によるハードウェア損傷を避けるため、定期的リストバンドテスターでチェックする必要があります。リストバンドとボンディングワイヤは、少なくとも週に 1 回はテストすることをお勧めします。
- **ESD リストバンドテスター** - ESD バンド内のワイヤは時間の経過に伴い損傷しやすくなります。監視対象外キットを使用するときは、少なくとも週に 1 回のペースで、各サービスコールの前に定期的リストバンドをテストすることがベストプラクティスです。リストバンドテスターはこのテストの実施に最適です。リストバンドテスターをお持ちでない場合、地域のオフィスにないかご確認ください。テストを実行するには、テスターにリストバンドのボンディングワイヤを接続し、手首にリストバンドを締めて、ボタンを押してテストを行います。緑色の LED はテストが成功した場合に点灯します。テストが失敗した場合は、赤い LED が点灯し、アラーム音が鳴ります。
- **インシュレータエレメント** - プラスチック製のヒートシンクカバーなどの ESD に敏感なデバイスは内蔵部品から離しておく必要があります。内蔵部品は、インシュレータであり、多くの場合は高荷電です。
- **作業環境** - ESD フィールドサービスキットを配備する前にカスタマのサイトで状況を評価します。例えば、サーバ環境のキットの導入は、デスクトップまたはノートブック環境とは異なります。サーバは通常、データセンター内のラックに設置されます。一方、デスクトップとノートブックはオフィスの机や作業スペースに設置されることが一般的です。ESD キットを広げられる十分なスペースと、修理するシステムなどを置くことのできる余分なスペースがあり、すっきりと整理された平らな広い作業場所を常に探しておくことです。また、その作業スペースは ESD イベントを引き起こす可能性のあるインシュレータがない場所にします。作業エリアでは、ハードウェアコンポーネントを扱う前に発泡スチロールやその他のプラスチックなどのインシュレータを静電気に敏感な部品から少なくとも 30 cm (12 インチ) 以上離しておく必要があります。
- **ESD パッケージ** - すべての ESD に敏感なデバイスは静電気対策を施されたパッケージで出荷および納品されることになっています。金属、静電シールドバッグが推奨されます。なお、損傷した部品は、新しい部品が納品されたときと同じ ESD 保護袋とパッケージを使用して返却される必要があります。ESD 保護袋は折り重ねてテープで封をし、新しい部品が納品されたときの箱に同じエアクッション梱包材をすべて入れてください。ESD に敏感なデバイスは、ESD 保護の作業場でのみパッケージから取り出すようにします。ESD 保護袋では、中身のみ保護されるため、袋の表面に部品を置かないでください。部品は常に、手の中、ESD マット上、システム内、静電気防止袋内に配置します。
- **ESD に敏感なコンポーネントの輸送** - 交換パーツまたはデルに返送する部品など、ESD に敏感なコンポーネントを輸送する場合は、安全輸送用の静電気防止袋にこれらの部品を入れる必要があります。

ESD 保護の概要

Dell 製品のサービスにあたる際は常に従来の有線 ESD 静電気防止用リストバンドと保護用の静電気防止マットを使用するよう、すべてのフィールドサービス技術者にお勧めします。また、サービスにあたる技術者は、静電気に敏感な部品とあらゆるインシュレータ部品を離しておき、静電気に敏感なコンポーネントを輸送するときは静電気防止袋を使用することが重要です。

敏感なコンポーネントの輸送

交換パーツまたはデルに返送する部品など、ESD に敏感なコンポーネントを輸送する場合は、安全輸送用の静電気防止袋にこれらの部品を入れることが重要です。

装置の持ち上げ

重量のある装置を持ち上げる際は、次のガイドラインに従います。

△ | 注意: 50 ポンド以上の装置は持ち上げないでください。常に追加リソースを確保しておくか、機械のリフトデバイスを使用します。

- 1 バランスの取れた足場を確保します。足を開いて安定させ、つま先を外に向けます。
- 2 腹筋を締めます。腹筋は、持ち上げる際に背骨を支え、負荷の力を弱めます。
- 3 背中ではなく、脚を使って持ち上げます。
- 4 荷を身体に近づけます。背骨に近づけるほど、背中に及ぶ力が減ります。
- 5 荷を持ち上げるときも降ろすときも背中を伸ばしておきます。荷に体重をかけてないでください。身体や背中をねじらないようにします。
- 6 反対に荷を置くときも、同じ手法に従ってください。

推奨ツール

この文書で説明する操作には、以下のツールが必要です。

- プラスドライバ#1
- マイナスドライバ
- プラスチックスクライブ

ネジのリスト

表 1. ネジのリスト

コンポーネント	固定先	ネジの種類	数	ネジの画像
ベースカバー	パームレストとキーボードアセンブリ	M2x6	6	
バッテリー	パームレストとキーボードアセンブリ	M2x3	4	
ハードドライブアセンブリ	パームレストとキーボードアセンブリ	M2x3	4	
ハードドライブブラケット	ハードドライブ	M3x3	4	
ソリッドステートドライブ	パームレストとキーボードアセンブリ	M2x3	1	
I/O ボード	パームレストとキーボードアセンブリ	M2x3	2	
ファン	パームレストとキーボードアセンブリ	M2x3	2	
ワイヤレスカード	システム基板	M2x3	1	
電源アダプタポート	パームレストとキーボードアセンブリ	M2x3	1	
電源ボタン	パームレストとキーボードアセンブリ	M2x3	2	
USB Type-C ブラケット	システム基板	M2x3	2	
システム基板	パームレストとキーボードアセンブリ	M2x2 大頭	6	
タッチパッド ブラケット	パームレストとキーボードアセンブリ	M2x2 大頭	3	
タッチパッド	パームレストとキーボードアセンブリ	M2x2 大頭	4	
ディスプレイアセンブリ	パームレストとキーボードアセンブリ	M2.5x5	6	

ベースカバーの取り外し

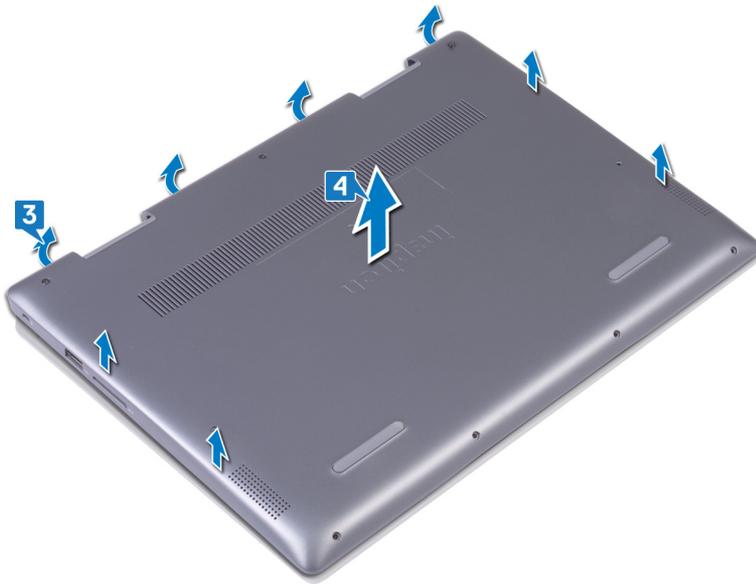
△ 警告: コンピュータ内部の作業を始める前に、お使いのコンピュータに付属している「安全にお使いいただくための注意事項」を読んで、「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順を実行してください。コンピュータ内部の作業を終えた後は、「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の指示に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの詳細については、規制順守ホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。

手順

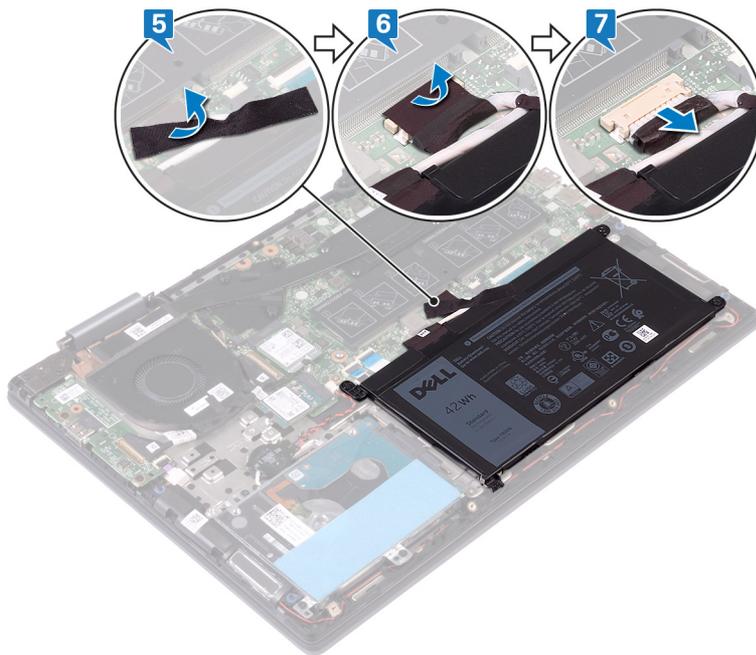
- 1 ベースカバーをパームレストとキーボードアセンブリーに固定している6本のネジ (M2x6) を外します。
- 2 ベースカバーをパームレストとキーボードアセンブリーに固定している3本の拘束ネジを緩めます。



- 3 指先を使ってベースカバーを左上隅から持ち上げ、パームレストとキーボードアセンブリーから取り外します。
- 4 ベースカバーを持ち上げて、パームレストとキーボードアセンブリーから取り外します。



- 5 バッテリーケーブルをバッテリーに固定しているテープをはがします。
- 6 バッテリーケーブルをバッテリーケーブル コネクタに固定しているテープをはがします。
- 7 バッテリーケーブルをシステム基板から外します。



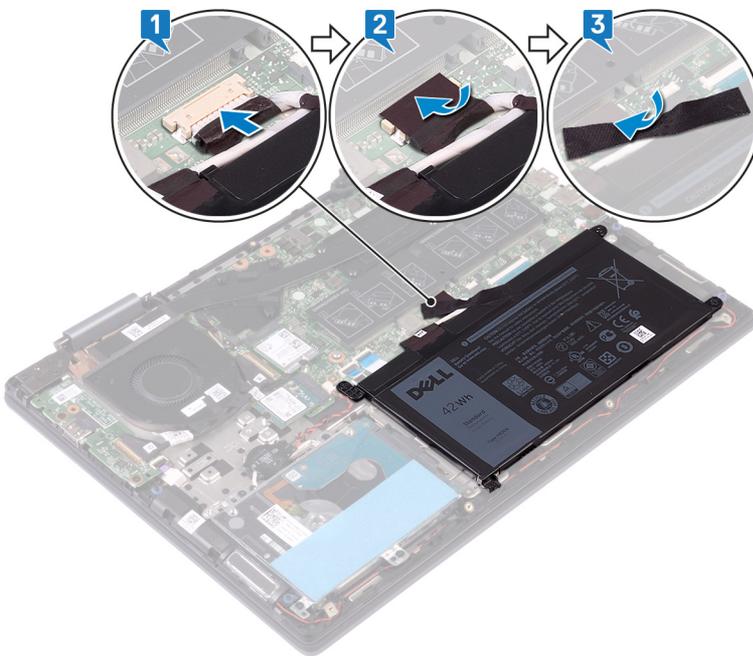
- 8 コンピューターを裏返してディスプレイを開き、電源ボタンを 15 秒間長押しして、システム基板の静電気を除去します。

ベースカバーの取り付け

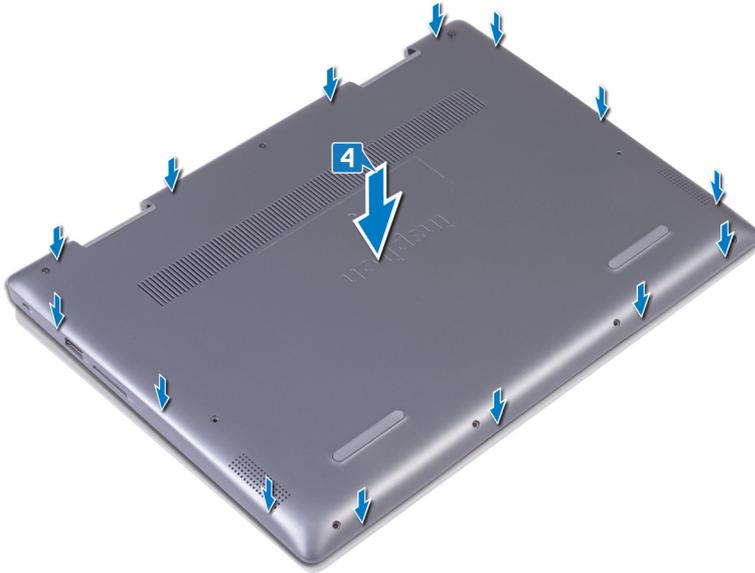
△ 警告: コンピュータ内部の作業を始める前に、お使いのコンピュータに付属している「安全にお使いいただくための注意事項」を読んで、「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順を実行してください。コンピュータ内部の作業を終えた後は、「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の指示に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの詳細については、規制順守ホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。

手順

- 1 ディスプレイを閉じて、コンピュータを裏返します。バッテリーケーブルをシステム基板に接続します。
- 2 バッテリーケーブルをバッテリーケーブルコネクタに固定するテープを貼り付けます。
- 3 バッテリーケーブルをバッテリーに固定するテープを貼り付けます。



- 4 ベースカバーのタブをパームレストとキーボードアセンブリーのスロットの位置に合わせて、ベースカバーを所定の位置にはめ込みます。



- 5 ベースカバーをパームレストとキーボードアセンブリーに固定する3本の拘束ネジを締めます。
- 6 ベースカバーをパームレストとキーボードアセンブリーに固定する6本のネジ (M2x6) を取り付けます。



バッテリーの取り外し

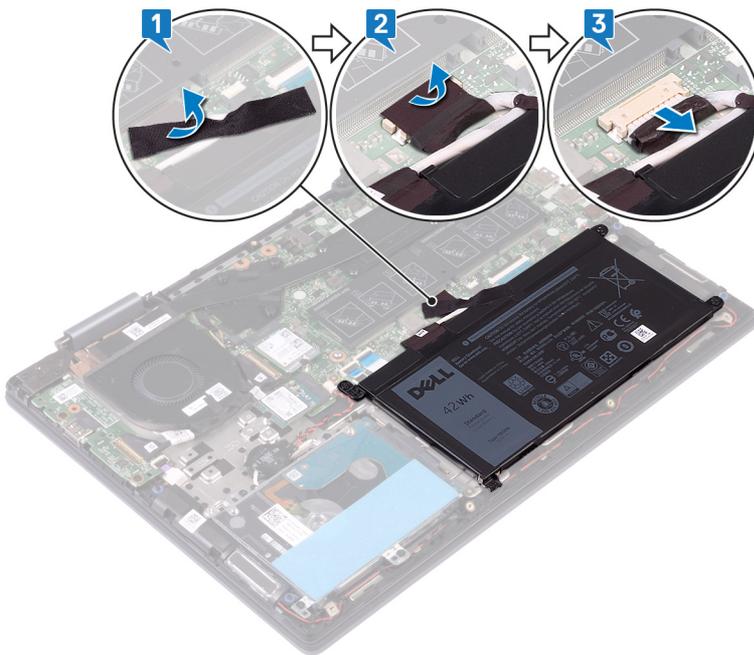
警告: コンピュータ内部の作業を始める前に、お使いのコンピュータに付属している「安全にお使いいただくための注意事項」を読んで、「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順を実行してください。コンピュータ内部の作業を終えた後は、「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の指示に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの詳細については、規制順守ホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。

前提条件

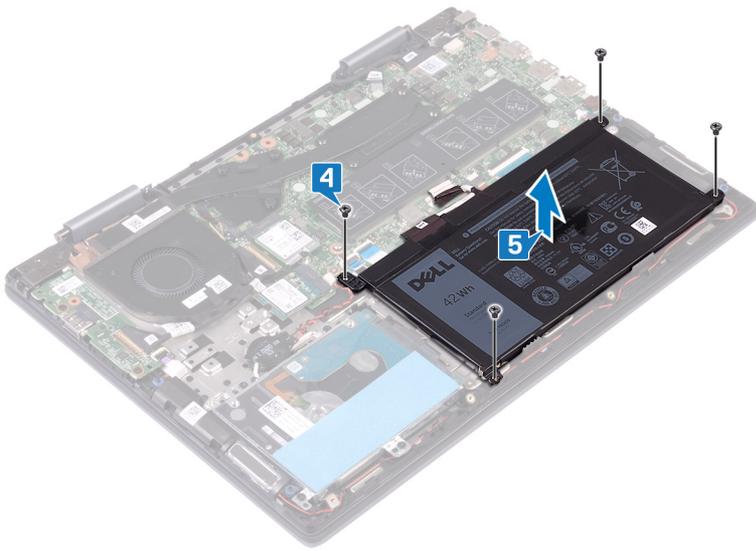
ベースカバーを取り外します。

手順

- 1 バッテリーケーブルをバッテリーに固定しているテープをはがします。
- 2 バッテリーケーブルをバッテリーケーブルコネクタに固定しているテープをはがします。
- 3 バッテリーケーブルをシステム基板から外します。



- 4 バッテリーをパームレストとキーボードアセンブリに固定している4本のネジ (M2x3) を外します。
- 5 バッテリーを持ち上げて、パームレストとキーボードアセンブリから取り外します。

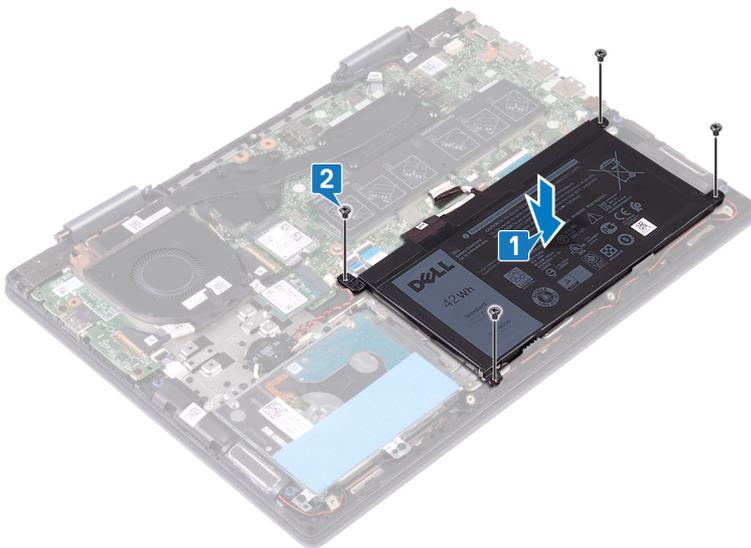


バッテリーの取り付け

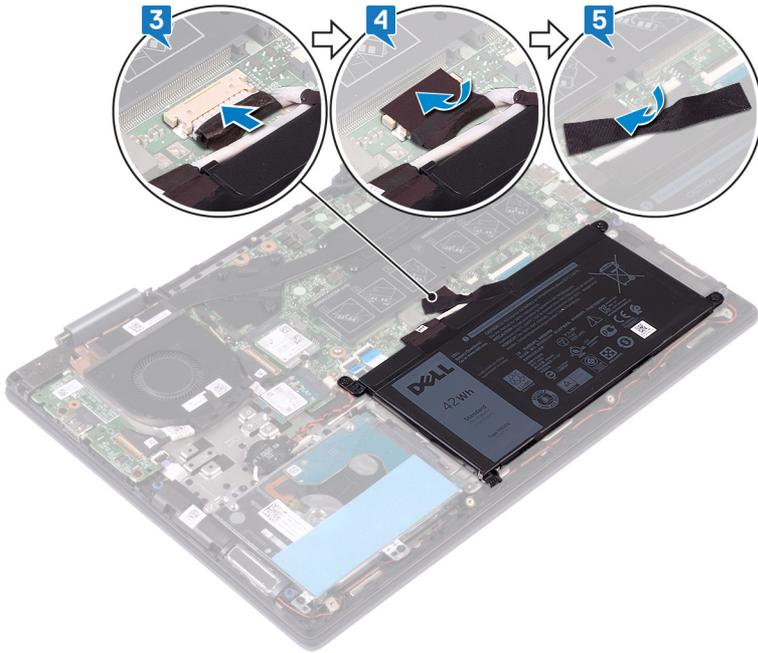
△ 警告: コンピュータ内部の作業を始める前に、お使いのコンピュータに付属している「安全にお使いいただくための注意事項」を読んで、「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順を実行してください。コンピュータ内部の作業を終えた後は、「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の指示に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの詳細については、規制順守ホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。

手順

- 1 バッテリーのネジ穴をパームレストとキーボードアセンブリのネジ穴に合わせます。
- 2 バッテリーをパームレストとキーボードアセンブリに固定する 4 本のネジ (M2x3) を取り付けます。



- 3 バッテリーケーブルをシステム基板に接続します。
- 4 バッテリーケーブルをバッテリーケーブルコネクタに固定するテープを貼り付けます。
- 5 バッテリーケーブルをバッテリーに固定するテープを貼り付けます。



作業を終えた後に

ベースカバーを取り付けます。

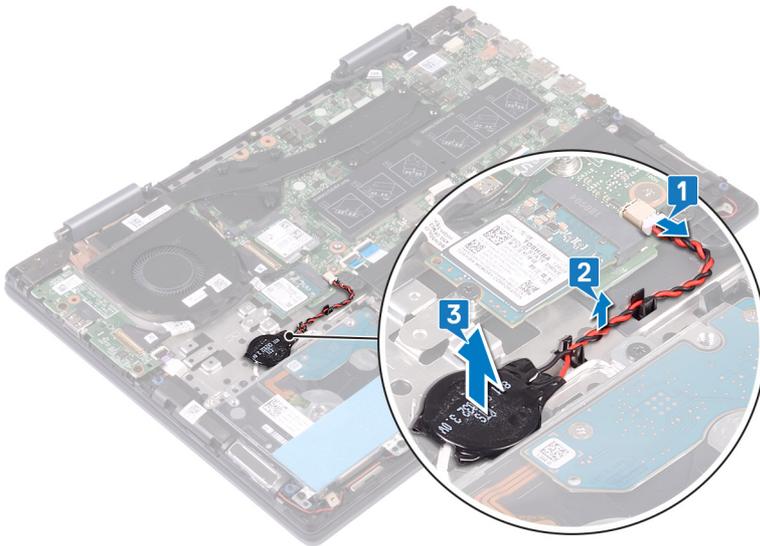
コイン型電池の取り外し

△ 警告: コンピュータ内部の作業を始める前に、お使いのコンピュータに付属している「安全にお使いいただくための注意事項」を読んで、「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順を実行してください。コンピュータ内部の作業を終えた後は、「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の指示に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの詳細については、規制順守ホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。

△ 注意: コイン型電池を取り外すと、BIOS セットアッププログラムの設定がデフォルト状態にリセットされます。コイン型電池を取り外す前に、BIOS セットアッププログラムの設定を書き留めておくことをお勧めします。

手順

- 1 コイン型電池ケーブルをシステム基板から外します。
- 2 パームレストとキーボードアセンブリ上のルーティングガイドからコイン型電池ケーブルを外します。
- 3 コイン型電池をパームレストとキーボードアセンブリから取り外します。

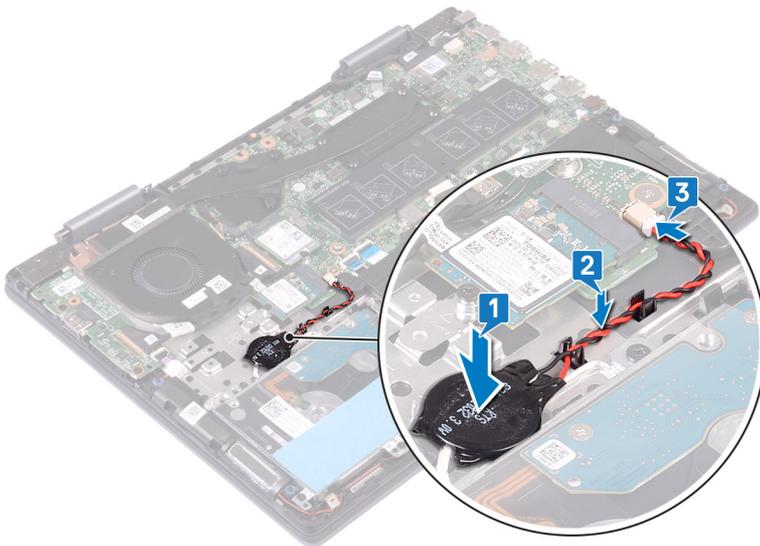


コイン型電池の取り付け

△ 警告: コンピュータ内部の作業を始める前に、お使いのコンピュータに付属している「安全にお使いいただくための注意事項」を読んで、「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順を実行してください。コンピュータ内部の作業を終えた後は、「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の指示に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの詳細については、規制順守ホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。

手順

- 1 コイン型電池をパームレストとキーボードアセンブリーに貼り付けます。
- 2 コイン型電池ケーブルをパームレストとキーボードアセンブリーのルーティングガイドに沿って配線します。
- 3 コイン型電池ケーブルをシステム基板に接続します。



メモリモジュールの取り外し

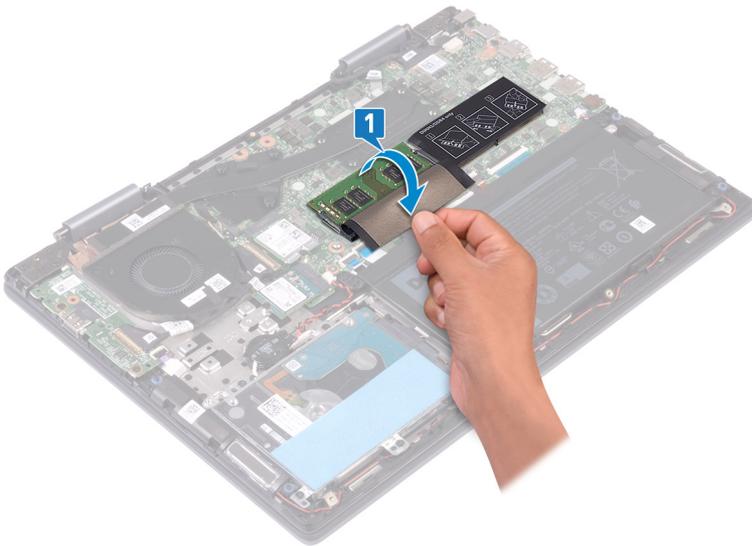
△ 警告: コンピュータ内部の作業を始める前に、お使いのコンピュータに付属している「安全にお使いいただくための注意事項」を読んで、「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順を実行してください。コンピュータ内部の作業を終えた後は、「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の指示に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの詳細については、規制順守ホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。

前提条件

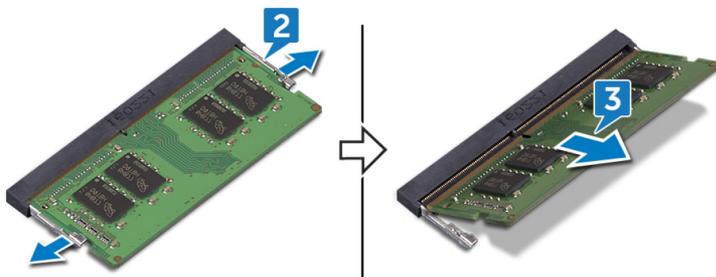
ベースカバーを取り外します。

手順

- 1 システム基板上のメモリモジュールの位置を確認し、メモリモジュールを覆っているマイラー フィルムを持ち上げます。



- 2 メモリモジュールスロットの両端にある固定クリップを、メモリモジュールが持ち上がるまで指先で慎重に広げます。
- 3 メモリモジュールをメモリモジュールスロットから取り外します。

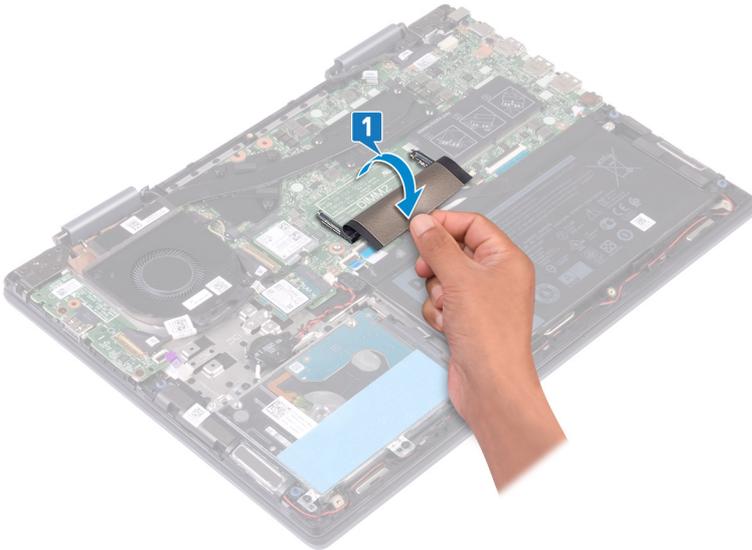


メモリモジュールの取り付け

△ 警告: コンピュータ内部の作業を始める前に、お使いのコンピュータに付属している「安全にお使いいただくための注意事項」を読んで、「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順を実行してください。コンピュータ内部の作業を終えた後は、「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の指示に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの詳細については、規制順守ホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。

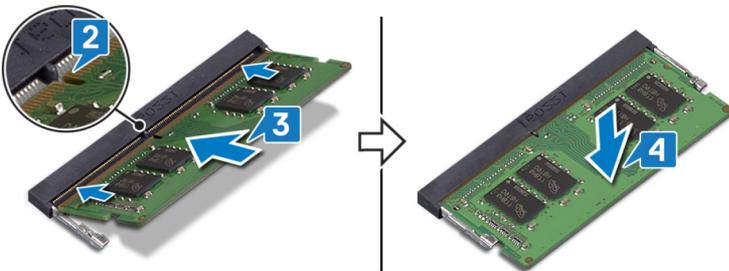
手順

- 1 システム基板上のメモリモジュールの位置を確認し、メモリモジュールを覆っているマイラー フィルムを持ち上げます。

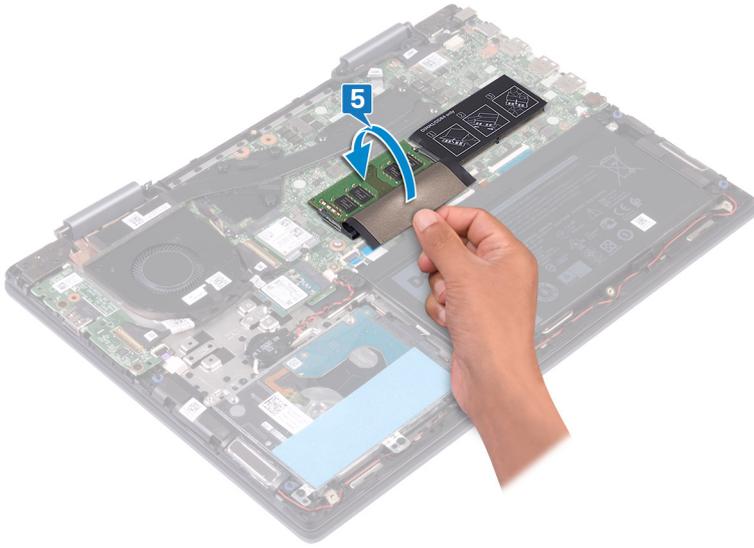


- 2 メモリモジュールの切り込みをメモリモジュールスロットのタブに合わせます。
- 3 スロットにメモリモジュールを角度を持たせてしっかりと差し込みます。
- 4 所定の位置にカチッと収まるまで、メモリモジュールを押し込みます。

① **メモ:** カチッという感触がない場合は、メモリモジュールを取り外して、もう一度差し込んでください。



- 5 システム基板上のメモリモジュールを覆うマイラー フィルムを放します。



作業を終えた後に

ベースカバーを取り付けます。

ソリッドステートドライブ/インテル Optane メモリ モジュールの取り外し

お使いのコンピューターからインテル Optane メモリ モジュールを取り外す前に、インテル Optane メモリを無効にする必要があります。インテル Optane メモリの無効化の詳細については、「[インテル Optane メモリの無効化](#)」を参照してください。

⚠ 警告: コンピュータ内部の作業を始める前に、お使いのコンピューターに付属している「安全にお使いいただくための注意事項」を読んで、「[コンピュータ内部の作業を始める前に](#)」の手順を実行してください。コンピュータ内部の作業を終えた後は、「[コンピュータ内部の作業を終えた後に](#)」の指示に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの詳細については、規制順守ホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。

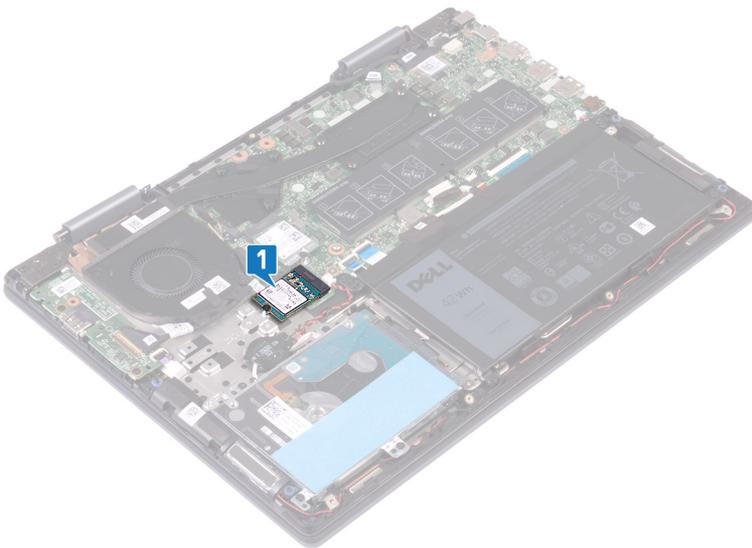
前提条件

⚠ 注意: お使いのコンピューターからインテル Optane メモリ モジュールを取り外す前に、インテル Optane メモリを無効にする必要があります。インテル Optane メモリの無効化の詳細については、「[インテル Optane メモリの無効化](#)」を参照してください。

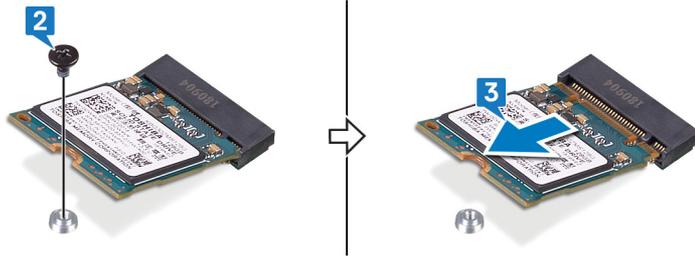
ベースカバーを取り外します。

手順

- 1 システム基板上的ソリッドステートドライブ/インテル Optane メモリ モジュールの位置を確認します。



- 2 ソリッドステートドライブ/インテル Optane メモリ モジュールをパームレストとキーボードアセンブリーに固定しているネジ (M2x3) を外します。
- 3 ソリッドステートドライブ/インテル Optane メモリ モジュールをスライドさせて、ソリッドステートドライブ/インテル Optane メモリ モジュール スロットから取り外します。



ソリッドステートドライブ/インテル Optane メモリ モジュールの取り付け

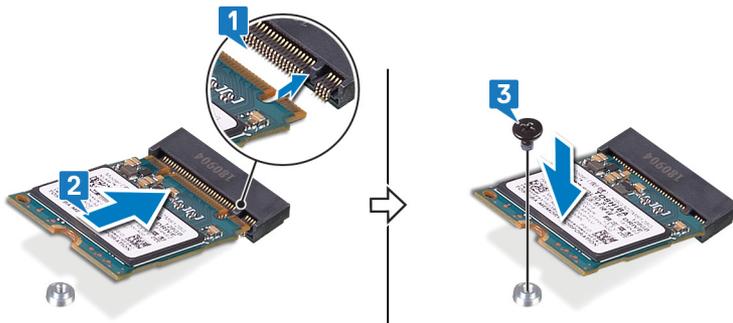
インテル Optane メモリ モジュールを取り付けた後、インテル Optane メモリを有効にします。インテル Optane メモリの有効化の詳細については、「[インテル Optane メモリの有効化](#)」を参照してください。

⚠ 警告: コンピュータ内部の作業を始める前に、お使いのコンピュータに付属している「安全にお使いいただくための注意事項」を読んで、「**コンピュータ内部の作業を始める前に**」の手順を実行してください。コンピュータ内部の作業を終えた後は、「**コンピュータ内部の作業を終えた後に**」の指示に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの詳細については、規制順守ホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。

⚠ 注意: ソリッドステートドライブは非常に壊れやすいものです。取り扱い場合は細心の注意を払ってください。

手順

- 1 ソリッドステートドライブ/インテル Optane メモリ モジュールの切り込みをソリッドステートドライブ/インテル Optane メモリ モジュール スロットのタブの位置に合わせます。
- 2 ソリッドステートドライブ/インテル Optane メモリ モジュールをスライドさせて、ソリッドステートドライブ/インテル Optane メモリ モジュール スロットに斜めにしっかりと挿入します。
- 3 ソリッドステートドライブ/インテル Optane メモリ モジュールのもう一方の端を押して、ソリッドステートドライブ/インテル Optane メモリ モジュールをパームレストとキーボード アセンブリーに固定するネジ (M2x3) を取り付けます。



作業を終えた後に

ベースカバーを取り付けます。

⚠ 注意: インテル Optane メモリ モジュールを取り付けた後、インテル Optane メモリを有効にします。インテル Optane メモリの有効化の詳細については、「[インテル Optane メモリの有効化](#)」を参照してください。

ハードドライブの取り外し

お使いのコンピューターが、Intel Optane メモリにより高速化されている SATA ストレージ デバイスを使用している場合は、Intel Optane を無効にしてから SATA ストレージ デバイスを取り外してください。Intel Optane の無効化の詳細については、「[Intel Optane の無効化](#)」を参照してください。

警告: コンピュータ内部の作業を始める前に、お使いのコンピュータに付属している「安全にお使いいただくための注意事項」を読んで、「**コンピュータ内部の作業を始める前に**」の手順を実行してください。コンピュータ内部の作業を終えた後は、「**コンピュータ内部の作業を終えた後に**」の指示に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの詳細については、規制順守ホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。

注意: ハードドライブは壊れやすい部品です。ハードディスクドライブの取り扱いには注意してください。

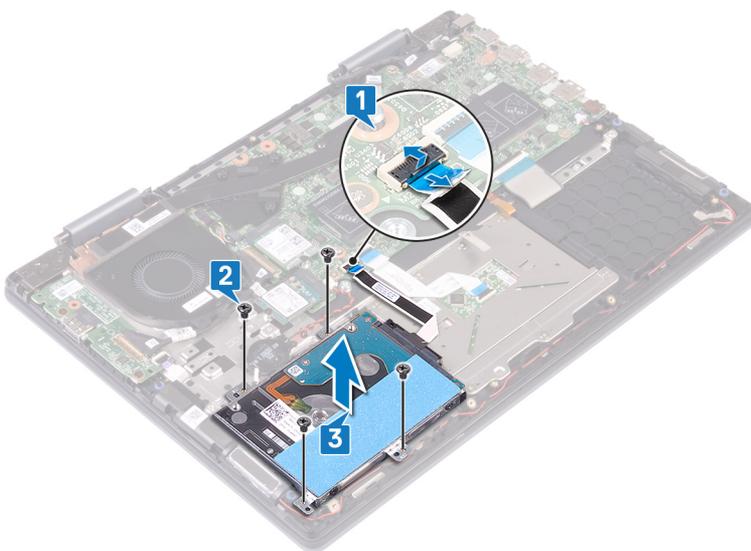
注意: データの損失を防ぐため、コンピュータの電源が入っている状態、またはスリープ状態のときにハードドライブを取り外さないでください。

前提条件

- 1 ベースカバーを取り外します。
- 2 バッテリーを取り外します。

手順

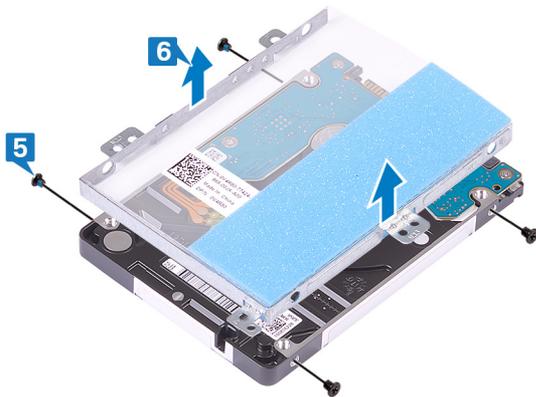
- 1 ラッチを開いて、ハードドライブケーブルをシステム基板から外します。
- 2 ハードドライブアセンブリをパームレストとキーボードアセンブリに固定している 4 本のネジ (M2x3) を取り外します。
- 3 ハードドライブアセンブリをケーブルと一緒に持ち上げ、パームレストとキーボードアセンブリから取り外します。



- 4 ハードドライブアセンブリからインタポーザを外します。



- 5 ハードドライブブラケットをハードドライブに固定している 4 本のネジ (M3x3) を取り外します。
- 6 ハードドライブブラケットをハードドライブから取り外します。



ハードドライブの取り付け

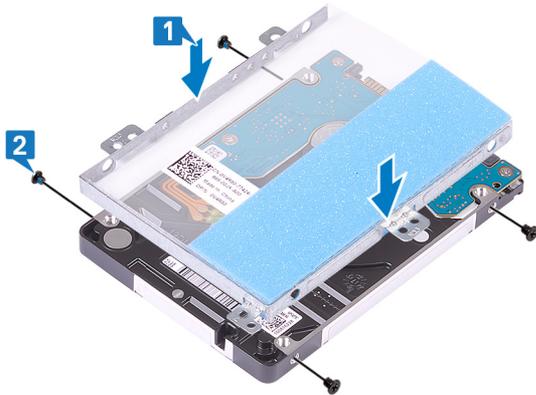
インテル Optane を有効にする前に SATA ストレージを取り付けます。インテル Optane の有効化の詳細については、「[インテル Optane の有効化](#)」を参照してください。

警告: コンピュータ内部の作業を始める前に、お使いのコンピュータに付属している「安全にお使いいただくための注意事項」を読んで、「**コンピュータ内部の作業を始める前に**」の手順を実行してください。コンピュータ内部の作業を終えた後は、「**コンピュータ内部の作業を終えた後に**」の指示に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの詳細については、規制順守ホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。

注意: ハードドライブは壊れやすい部品です。ハードディスクドライブの取り扱いには注意してください。

手順

- 1 ハードドライブブラケットのネジ穴をハードドライブのネジ穴の位置に合わせます。
- 2 ハードドライブブラケットをハードドライブに固定する 4 本のネジ (M3x3) を取り付けます。

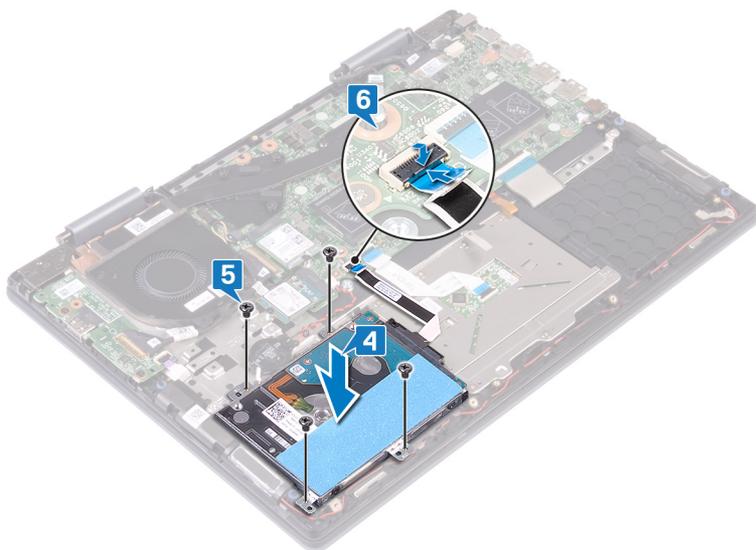


- 3 インタポーザをハードドライブアセンブリに接続します。



- 4 ハードドライブアセンブリのネジ穴をパームレストとキーボードアセンブリのネジ穴に合わせます。
- 5 ハードドライブアセンブリをパームレストとキーボードアセンブリに固定する 4 本のネジ (M2x3) を取り付けます。

- 6 ハードドライブケーブルをシステム基板のコネクタに接続します。



作業を終えた後に

- 1 バッテリーを取り付けます。
- 2 ベースカバーを取り付けます。

ヒートシンクの取り外し

⚠ **警告:** コンピュータ内部の作業を始める前に、お使いのコンピュータに付属している「安全にお使いいただくための注意事項」を読んで、「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順を実行してください。コンピュータ内部の作業を終えた後は、「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の指示に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの詳細については、規制順守ホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。

⚠ **警告:** 通常の動作中、ヒートシンクが高温になる場合があります。温度が十分に下がりヒートシンクが冷えるのを待って、触ってください。

⚠ **注意:** プロセッサの冷却効果を最大にするために、ヒートシンクの放熱部分には触れないでください。油脂が付着すると、サーマルグリースの放熱能力が低下する場合があります。

前提条件

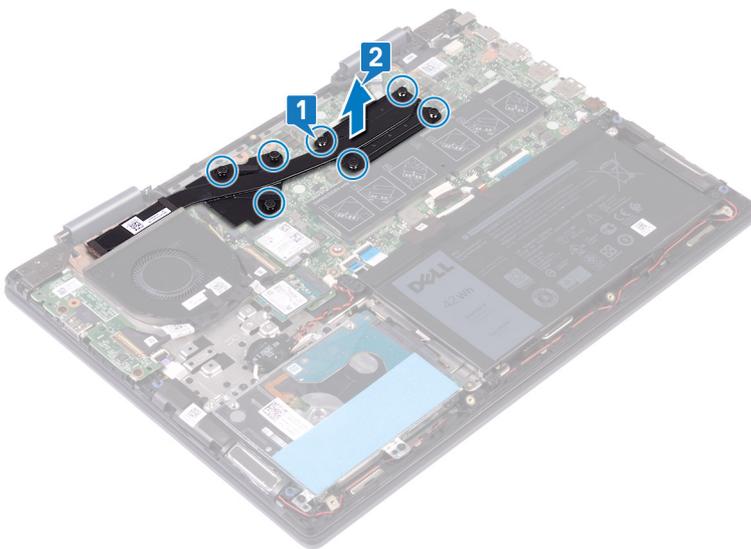
ベースカバーを取り外します。

手順

1 ヒートシンク上の表示とは逆の順序で、ヒートシンクをシステム基板に固定する7本の拘束ネジを緩めます。

① **メモ:** ネジの数は、発注した構成に応じて異なる場合があります。

2 ヒートシンクを持ち上げて、システム基板から取り外します。



ヒートシンクの取り付け

⚠ 警告: コンピュータ内部の作業を始める前に、お使いのコンピュータに付属している「安全にお使いいただくための注意事項」を読んで、「**コンピュータ内部の作業を始める前に**」の手順を実行してください。コンピュータ内部の作業を終えた後は、「**コンピュータ内部の作業を終えた後に**」の指示に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの詳細については、規制順守ホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。

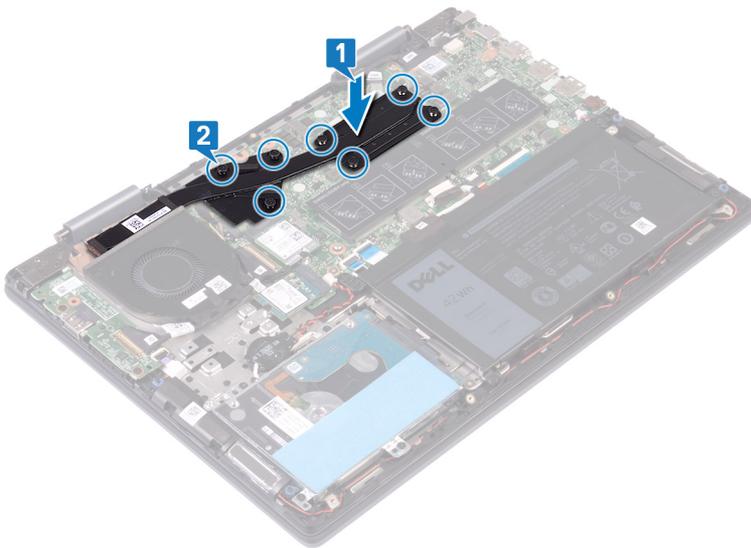
⚠ 注意: ヒートシンクの位置が正しく合っていないと、システム基板とプロセッサを損傷する可能性があります。

① メモ: システム基板またはヒートシンクのどちらかを取り付ける場合は、熱伝導性を確保するために、キット内のサーマルパッドを使用してください。

手順

- 1 ヒートシンクのネジ穴をシステム基板のネジ穴に合わせます。
- 2 ヒートシンク上に表示されている順序で、ヒートシンクをシステム基板に固定する7本の拘束ネジを締めます。

① メモ: ネジの数は、発注した構成に応じて異なる場合があります。



作業を終えた後に

ベースカバーを取り付けます。

ファンの取り外し

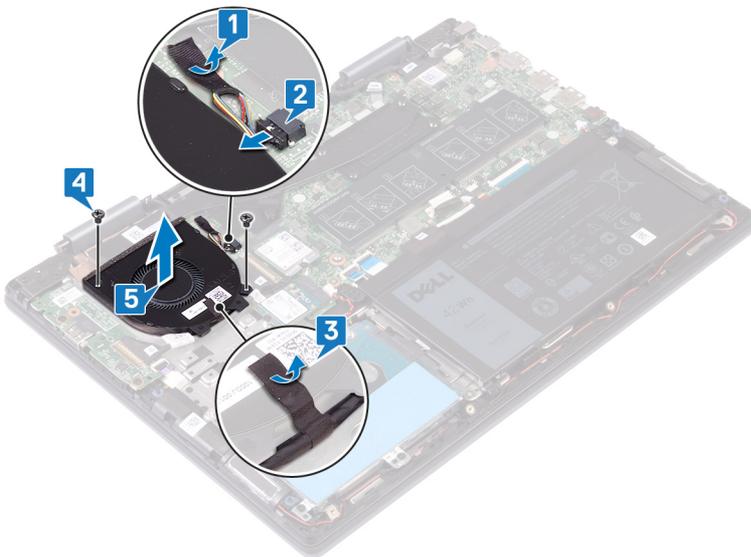
△ 警告: コンピュータ内部の作業を始める前に、お使いのコンピュータに付属している「安全にお使いいただくための注意事項」を読んで、「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順を実行してください。コンピュータ内部の作業を終えた後は、「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の指示に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの詳細については、規制順守ホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。

前提条件

ベースカバーを取り外します。

手順

- 1 ファンケーブルをシステム基板に固定しているテープをはがします。
- 2 ファンケーブルをシステム基板から外します。
- 3 I/O ボードケーブルをファンに固定しているテープをはがします。
- 4 ファンをパームレストとキーボードアセンブリーに固定している 2 本のネジ (M2x3) を外します。
- 5 ファンを持ち上げて、パームレストとキーボードアセンブリーから取り外します。

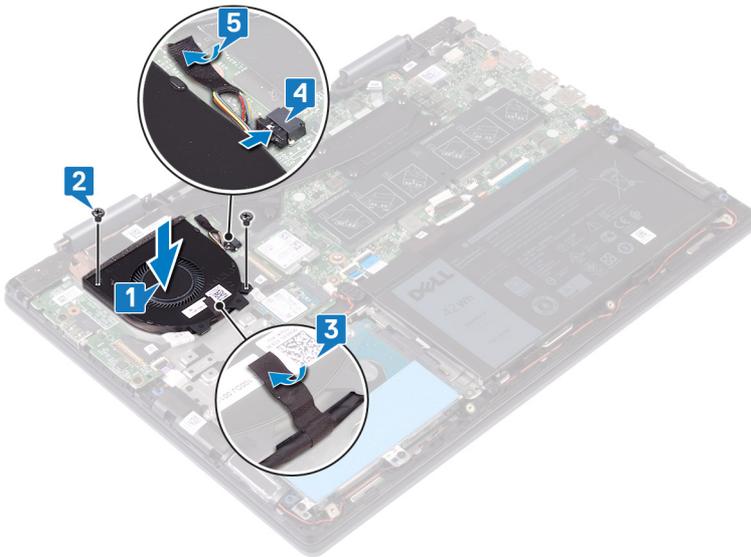


ファンの取り付け

△ 警告: コンピュータ内部の作業を始める前に、お使いのコンピュータに付属している「安全にお使いいただくための注意事項」を読んで、「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順を実行してください。コンピュータ内部の作業を終えた後は、「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の指示に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの詳細については、規制順守ホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。

手順

- 1 ファンをネジ穴をパームレストとキーボードアセンブリーのネジ穴に合わせます。
- 2 ファンをパームレストとキーボードアセンブリーに固定する2本のネジ (M2x3) を取り付けます。
- 3 I/Oボードケーブルをファンに固定するテープを貼り付けます。
- 4 ファンケーブルをシステム基板に接続します。
- 5 ファンケーブルをシステム基板に固定するテープを貼り付けます。



作業を終えた後に

ベースカバーを取り付けます。

スピーカーの取り外し

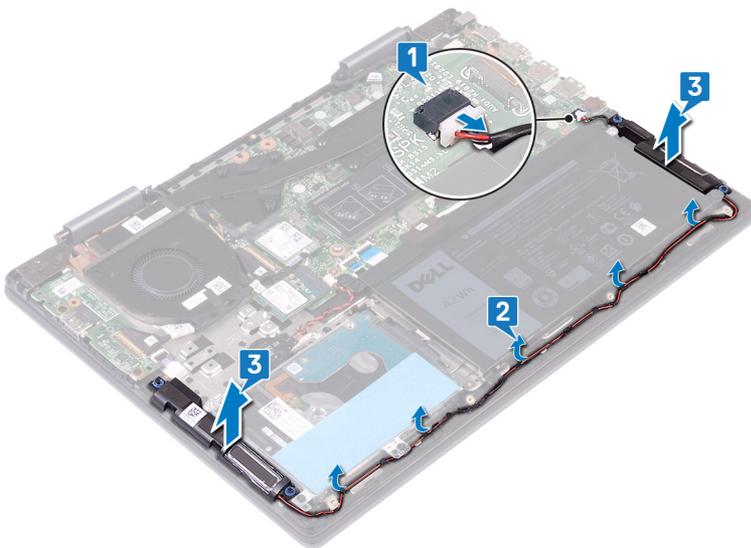
△ 警告: コンピュータ内部の作業を始める前に、お使いのコンピュータに付属している「安全にお使いいただくための注意事項」を読んで、「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順を実行してください。コンピュータ内部の作業を終えた後は、「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の指示に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの詳細については、規制順守ホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。

前提条件

ベースカバーを取り外します。

手順

- 1 スピーカーケーブルをシステム基板から外します。
- 2 ケーブルの配線をメモしてから、スピーカー ケーブルをパーム レストとキーボード アセンブリーのルーティング ガイドから外します。
- 3 スピーカーをケーブルと一緒に持ち上げて、パーム レストとキーボード アセンブリーから取り外します。

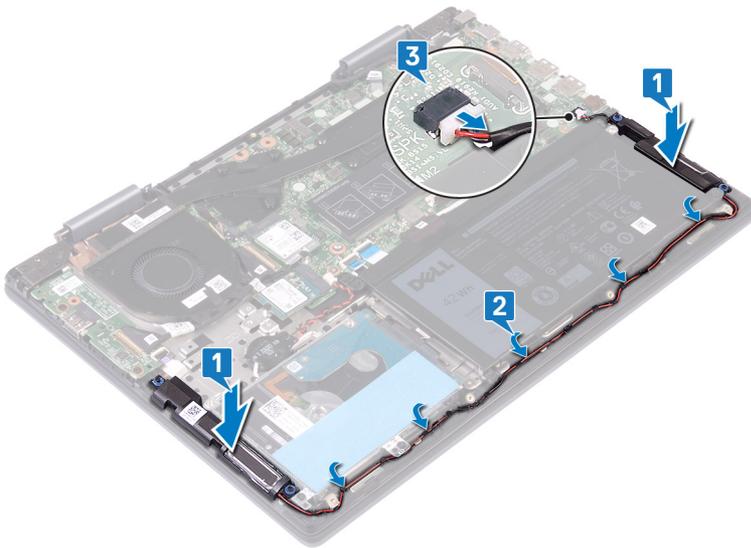


スピーカーの取り付け

△ 警告: コンピュータ内部の作業を始める前に、お使いのコンピュータに付属している「安全にお使いいただくための注意事項」を読んで、「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順を実行してください。コンピュータ内部の作業を終えた後は、「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の指示に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの詳細については、規制順守ホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。

手順

- 1 位置合わせポストを使って、スピーカーをパームレストとキーボードアセンブリーに合わせてセットします。
① | **メモ:** スピーカーの取り付け中にゴムグロメットが押し上げられた場合は、ゴムグロメットを交換します。
- 2 スピーカーケーブルをパームレストとキーボードアセンブリーのルーティングガイドに沿って配線します。
- 3 システム基板にスピーカーケーブルを接続します。



作業を終えた後に

ベースカバーを取り付けます。

I/O ボードの取り外し

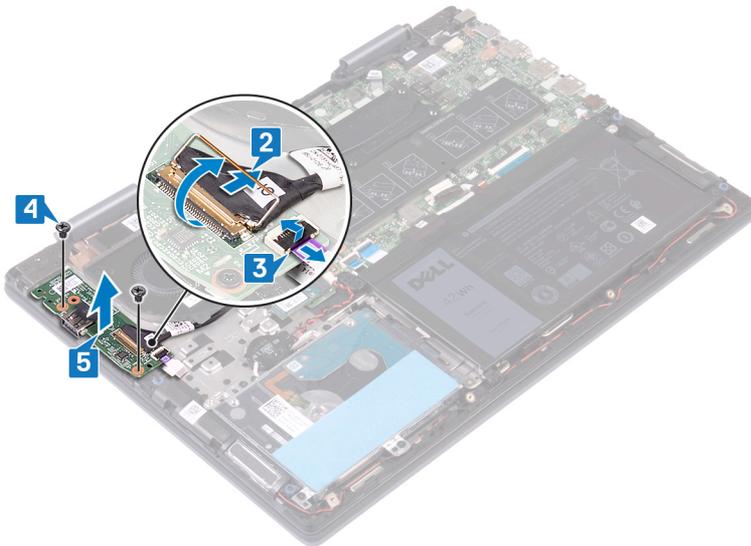
⚠ 警告: コンピュータ内部の作業を始める前に、お使いのコンピュータに付属している「安全にお使いいただくための注意事項」を読んで、「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順を実行してください。コンピュータ内部の作業を終えた後は、「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の指示に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの詳細については、規制順守ホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。

前提条件

ベースカバーを取り外します。

手順

- 1 I/O ボードケーブルを I/O ボードに固定しているテープをはがします。
- 2 ラッチを開き、I/O ボードケーブルを I/O ボードから外します。
- 3 指紋認証リーダー ボード ケーブルを I/O ボードから外します。
- 4 I/O ボードをパームレストとキーボード アセンブリーに固定している 2 本のネジ (M2x3) を外します。
- 5 I/O ボードを持ち上げて、パームレストとキーボード アセンブリーから取り外します。

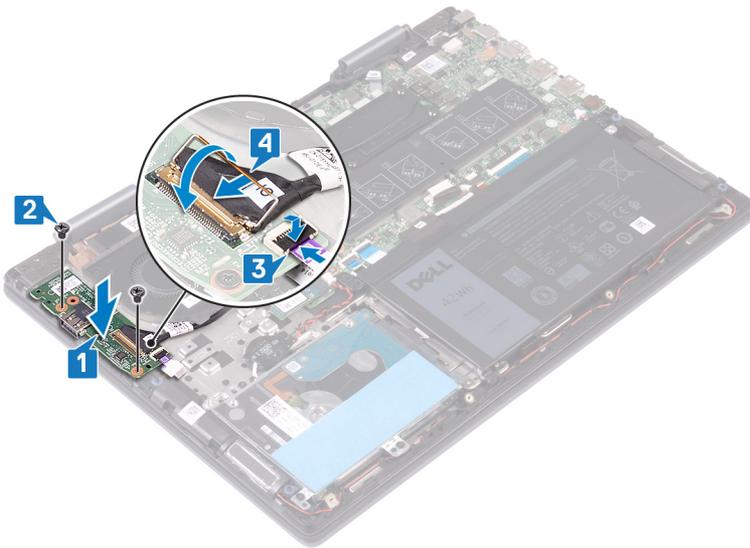


I/O ボードの取り付け

警告: コンピュータ内部の作業を始める前に、お使いのコンピュータに付属している「安全にお使いいただくための注意事項」を読んで、「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順を実行してください。コンピュータ内部の作業を終えた後は、「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の指示に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの詳細については、規制順守ホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。

手順

- 1 I/O ボードをパームレストとキーボードアセンブリーにセットし、I/O ボードのネジ穴をパームレストとキーボードアセンブリーのネジ穴に合わせます。
- 2 I/O ボードをパームレストとキーボードアセンブリーに固定する 2 本のネジ (M2x3) を取り付けます。
- 3 指紋認証リーダーケーブルを I/O ボードのコネクタに差し込み、ラッチを閉じてケーブルを固定します。
- 4 I/O ボードケーブルを I/O ボードのコネクタに差し込み、ラッチを閉じてケーブルを固定します。
- 5 I/O ボードケーブルを I/O ボードに固定するテープを貼り付けます。



作業を終えた後に

ベースカバーを取り付けます。

電源アダプタポートの取り外し

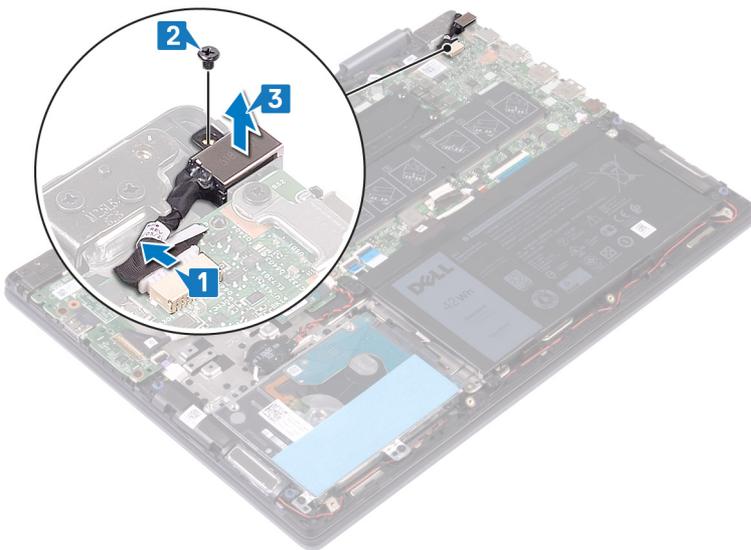
△ 警告: コンピュータ内部の作業を始める前に、お使いのコンピュータに付属している「安全にお使いいただくための注意事項」を読んで、「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順を実行してください。コンピュータ内部の作業を終えた後は、「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の指示に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの詳細については、規制順守ホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。

前提条件

ベースカバーを取り外します。

手順

- 1 電源アダプタポートケーブルをシステム基板から外します。
- 2 電源アダプタポートをパームレストとキーボードアセンブリーに固定しているネジ (M2x3) を外します。
- 3 電源アダプタポートをケーブルとともに持ち上げて、パームレストとキーボードアセンブリーから取り外します。

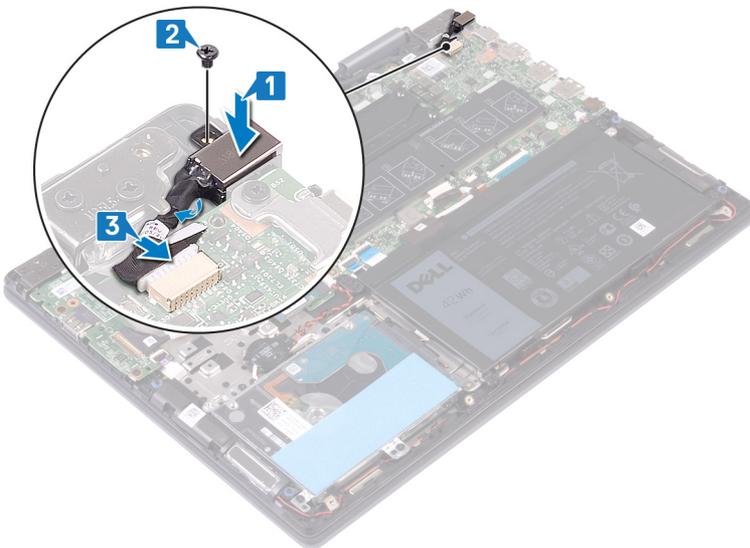


電源アダプタポートの取り付け

△ 警告: コンピュータ内部の作業を始める前に、お使いのコンピュータに付属している「安全にお使いいただくための注意事項」を読んで、「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順を実行してください。コンピュータ内部の作業を終えた後は、「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の指示に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの詳細については、規制順守ホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。

手順

- 1 電源アダプタポートをパームレストとキーボードアセンブリのスロットにセットし、電源アダプタポートのネジ穴をパームレストとキーボードアセンブリのネジ穴に合わせます。
- 2 電源アダプタポートをパームレストとキーボードアセンブリに固定するネジ (M2x3) を取り付けます。
- 3 電源アダプタポートケーブルをシステム基板に接続します。



作業を終えた後に

ベースカバーを取り付けます。

ワイヤレスカードの取り外し

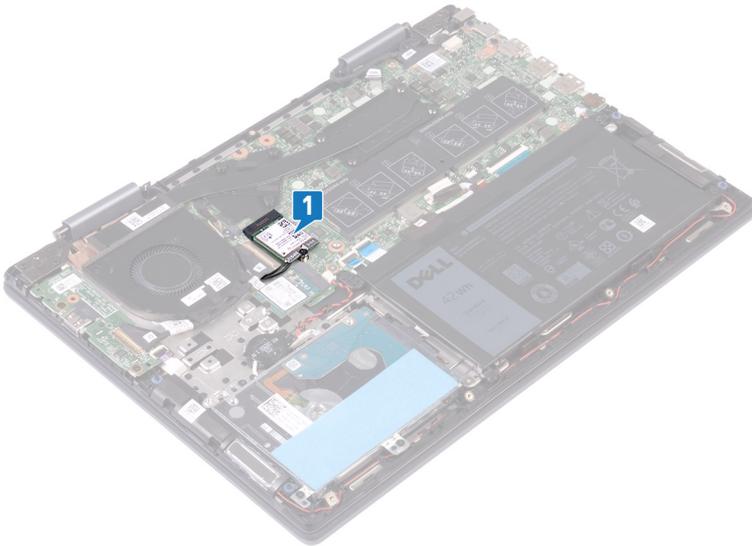
警告: コンピュータ内部の作業を始める前に、お使いのコンピュータに付属している「安全にお使いいただくための注意事項」を読んで、「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順を実行してください。コンピュータ内部の作業を終えた後は、「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の指示に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの詳細については、規制順守ホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。

前提条件

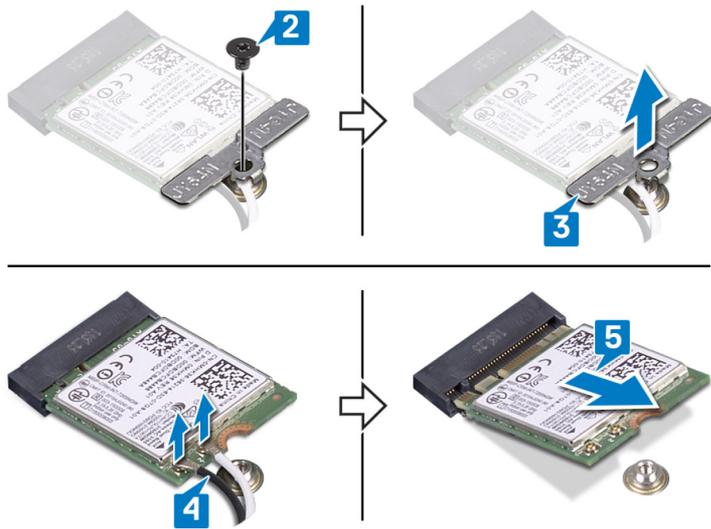
ベースカバーを取り外します。

手順

- 1 システム基板のワイヤレスカードの位置を確認します。



- 2 ワイヤレスカードブラケットとワイヤレスカードをシステム基板に固定しているネジ (M2x3) を外します。
- 3 ワイヤレスカードブラケットを持ち上げて、ワイヤレスカードから取り外します。
- 4 アンテナケーブルをワイヤレスカードから外します。
- 5 ワイヤレスカードをスライドさせて、ワイヤレスカードスロットから取り外します。



ワイヤレスカードの取り付け

△ 警告: コンピュータ内部の作業を始める前に、お使いのコンピュータに付属している「安全にお使いいただくための注意事項」を読んで、「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順を実行してください。コンピュータ内部の作業を終えた後は、「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の指示に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの詳細については、規制順守ホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。

手順

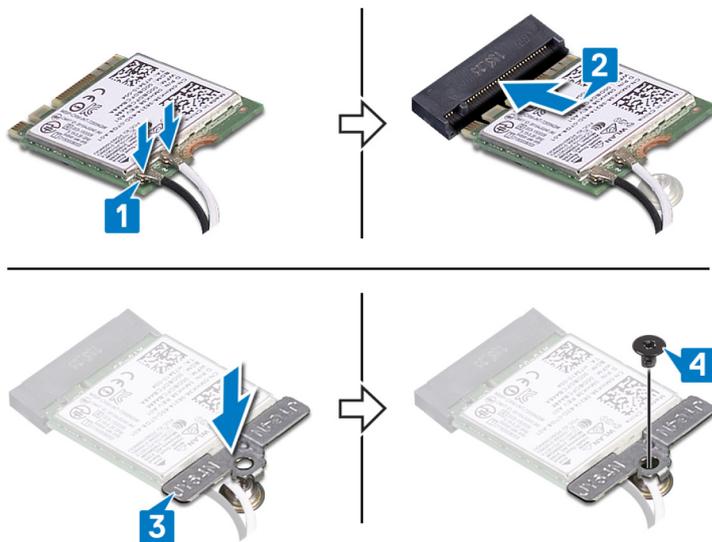
△ 注意: ワイヤレスカードへの損傷を避けるため、カードの下にケーブルを置かないでください。

- 1 アンテナケーブルをワイヤレスカードに接続します。
- 2 ワイヤレスカードの切込みをワイヤレスカードスロットのタブに合わせ、ワイヤレスカードを傾けてワイヤレスカードスロットに差し込みます。次の表に、お使いのコンピュータがサポートするワイヤレスカード用アンテナケーブルの色分けを示します。

表 2. アンテナケーブルの色分け

ワイヤレスカードのコネクタ	アンテナケーブルの色
メイン (白色の三角形)	白色
補助 (黒色の三角形)	黒色

- 3 ワイヤレスカードブラケットのネジ穴をワイヤレスカードとシステム基板のネジ穴に合わせます。
- 4 ワイヤレスカードブラケットとワイヤレスカードをシステム基板に固定するネジ (M2x3) を取り付けます。



作業を終えた後に

ベースカバーを取り付けます。

ディスプレイアセンブリの取り外し

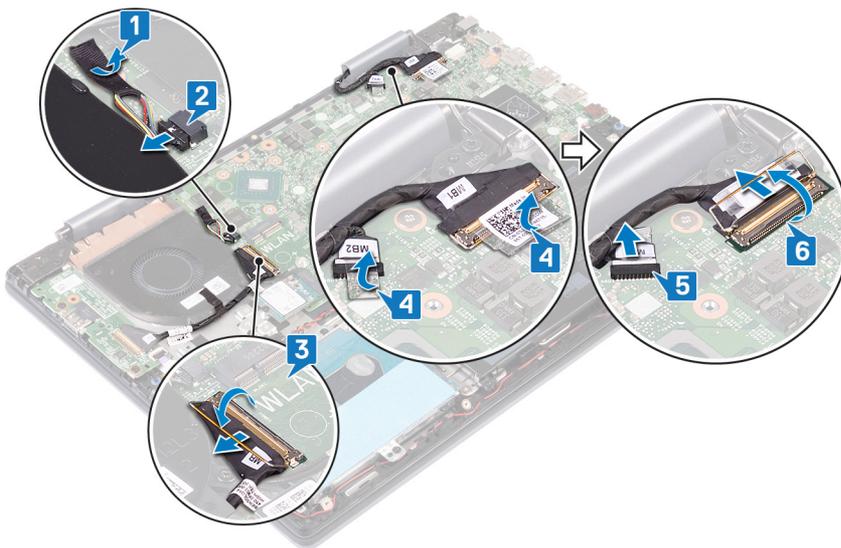
△ 警告: コンピュータ内部の作業を始める前に、お使いのコンピュータに付属している「安全にお使いいただくための注意事項」を読んで、「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順を実行してください。コンピュータ内部の作業を終えた後は、「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の指示に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの詳細については、規制順守ホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。

前提条件

- 1 ベースカバーを取り外します。
- 2 ワイヤレスカードを取り外します。

手順

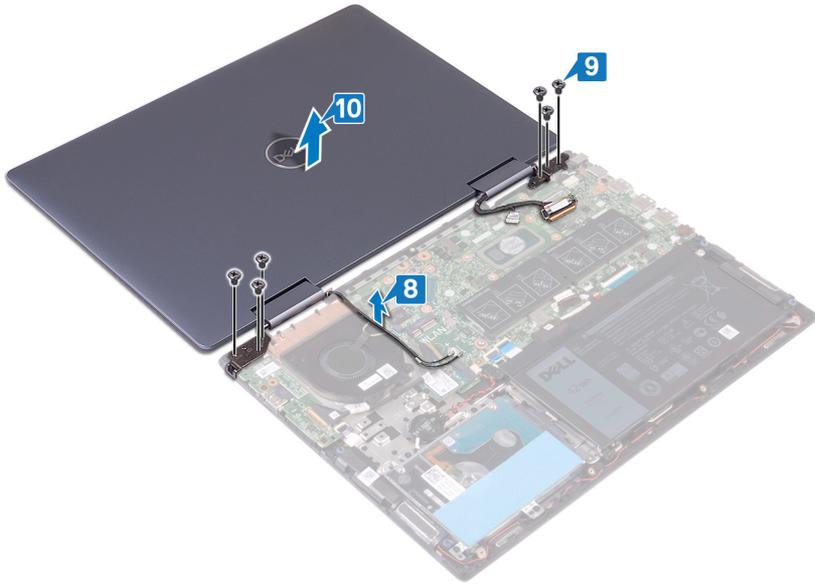
- 1 ファンケーブルをシステム基板に固定しているテープをはがします。
- 2 ファンケーブルをシステム基板から外します。
- 3 ラッチを開き、I/O ケーブルをシステム基板から外します。
- 4 タッチスクリーン ケーブルとモニター ケーブルをシステム基板のそれぞれのコネクタに固定しているテープをはがします。
- 5 ラッチを開き、タッチスクリーン ケーブルをシステム基板から外します。
- 6 ラッチを開き、ディスプレイケーブルをシステム基板から外します。



- 7 コンピューターを表向きに置き、ディスプレイを可能な限り開きます。次に、コンピューターの前面を下にして平らな面に置きます。

△ 注意: ディスプレイを傷つけないように、コンピュータを柔らかく、清潔な面に置きます。

- 8 パームレストとキーボード アセンブリのルーティング ガイドからアンテナ ケーブルを外します。
- 9 ディスプレイ アセンブリをパームレストとキーボード アセンブリに固定している 6 本のネジ (M2.5x5) を外します。
- 10 ディスプレイ アセンブリを持ち上げて、パームレストとキーボード アセンブリから慎重に取り外します。



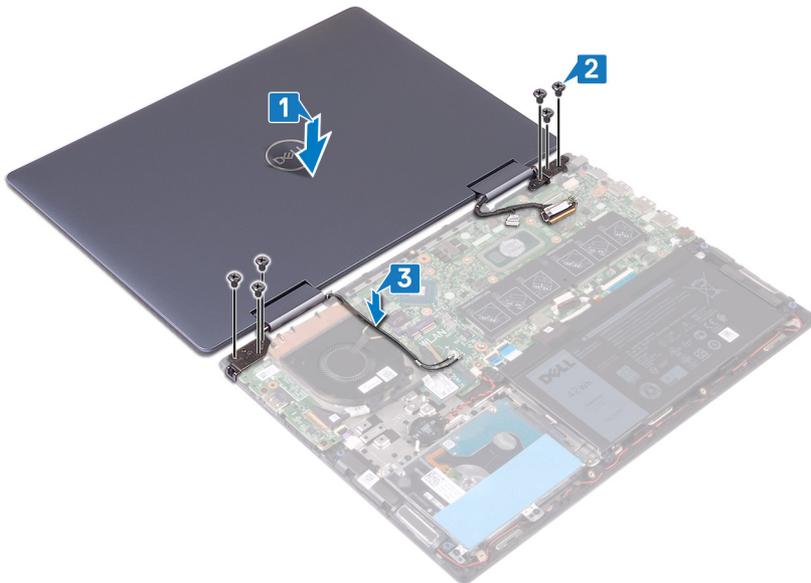
ディスプレイアセンブリの取り付け

△ 警告: コンピュータ内部の作業を始める前に、お使いのコンピュータに付属している「安全にお使いいただくための注意事項」を読んで、「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順を実行してください。コンピュータ内部の作業を終えた後は、「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の指示に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの詳細については、規制順守ホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。

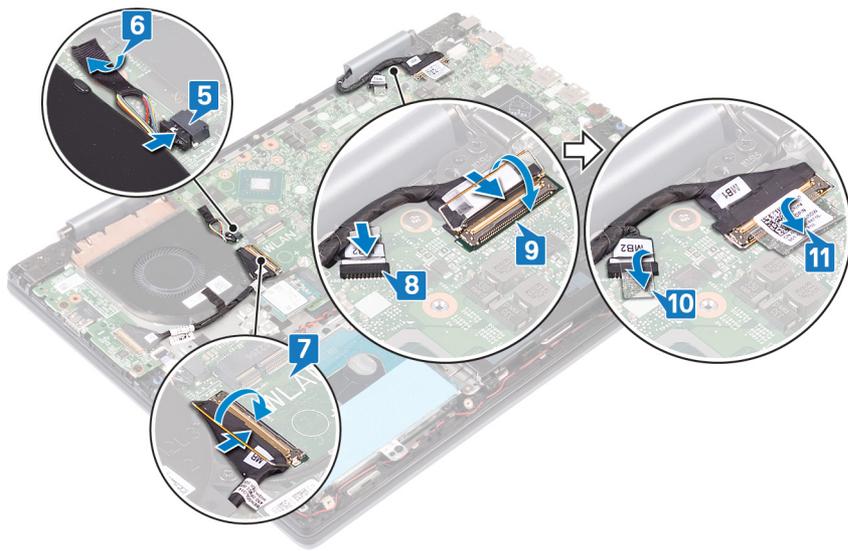
手順

△ 注意: ディスプレイを傷つけないように、コンピュータを柔らかく、清潔な面に置きます。

- 1 ディスプレイアセンブリのネジ穴をパームレストとキーボードアセンブリのネジ穴に合わせます。
- 2 ディスプレイアセンブリをパームレストとキーボードアセンブリに固定する 6 本のネジ (M2.5x5) を取り付けます。
- 3 アンテナケーブルをパームレストとキーボードアセンブリのルーティングガイドに沿って配線します。



- 4 ディスプレイを閉じて、コンピュータを裏返します。
- 5 ファンケーブルをシステム基板に接続します。
- 6 ファンケーブルをシステム基板に固定するテープを貼り付けます。
- 7 I/Oケーブルをシステム基板のスロットに差し込み、ラッチを閉じてケーブルを固定します。
- 8 タッチスクリーンケーブルをシステム基板のスロットに差し込み、ラッチを閉じてケーブルを固定します。
- 9 モニターケーブルをシステム基板のスロットに差し込み、ラッチを閉じてケーブルを固定します。
- 10 タッチスクリーンケーブルをシステム基板に固定するテープを貼り付けます。
- 11 ディスプレイケーブルをシステム基板に固定するテープを貼り付けます。



作業を終えた後に

- 1 ワイヤレスカードを取り付けます。
- 2 ベースカバーを取り付けます。

指紋認証リーダー内蔵電源ボタンの取り外し

△ 警告: コンピュータ内部の作業を始める前に、お使いのコンピュータに付属している「安全にお使いいただくための注意事項」を読んで、「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順を実行してください。コンピュータ内部の作業を終えた後は、「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の指示に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの詳細については、規制順守ホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。

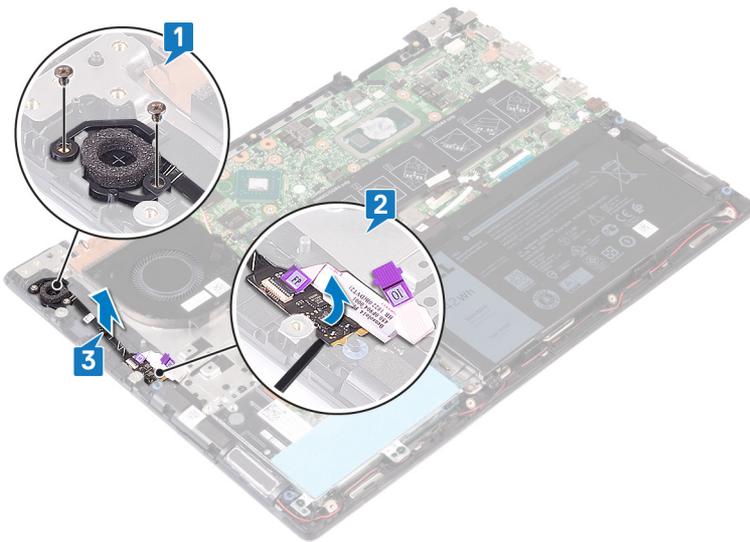
① | **メモ:** 指紋認証リーダー搭載のコンピュータにのみ適用されます。

前提条件

- 1 ベースカバーを取り外します。
- 2 I/O ボードを取り外します。
- 3 ワイヤレスカードを取り外します。
- 4 ディスプレイアセンブリを取り外します。

手順

- 1 電源ボタン（指紋認証リーダー内蔵）をパームレストとキーボードアセンブリに固定している 2 本のネジ（M2x3）を外します。
- 2 ラッチを開き、指紋認証リーダーケーブル付き電源ボタンを指紋認証リーダーケーブルコネクタ付き電源ボタンから外します。
- 3 電源ボタン（指紋認証リーダー内蔵）をパームレストとキーボードアセンブリから取り外します。



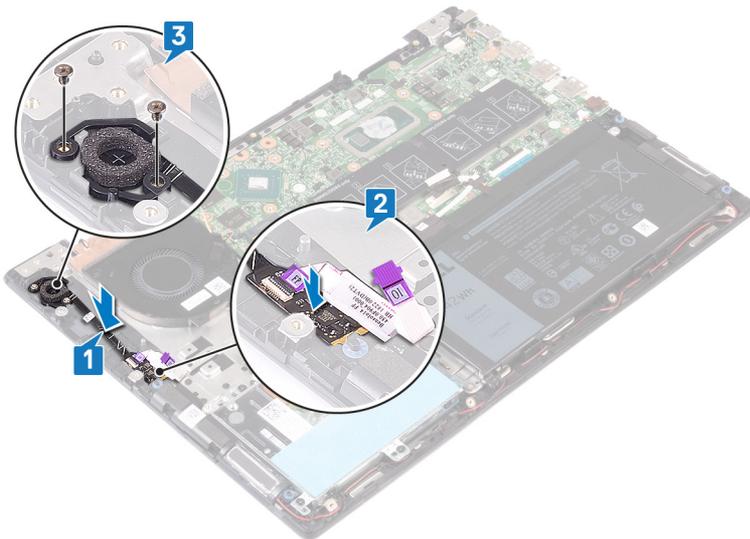
指紋認証リーダー内蔵電源ボタンの取り付け

△ 警告: コンピュータ内部の作業を始める前に、お使いのコンピュータに付属している「安全にお使いいただくための注意事項」を読んで、「**コンピュータ内部の作業を始める前に**」の手順を実行してください。コンピュータ内部の作業を終えた後は、「**コンピュータ内部の作業を終えた後に**」の指示に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの詳細については、規制順守ホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。

① **メモ:** 指紋認証リーダー搭載のコンピュータにのみ適用されます。

手順

- 1 電源ボタン（指紋認証リーダー内蔵）をパームレストとキーボードアセンブリのスロットに差し込みます。
- 2 指紋認証リーダーケーブルコネクタラッチ付き電源ボタンを開き、指紋認証リーダーケーブル付き電源ボタンを電源ボタン（指紋認証リーダー内蔵）に接続します。
- 3 電源ボタン（指紋認証リーダー内蔵）をパームレストとキーボードアセンブリに固定する2本のネジ（M2x3）を取り付けます。



作業を終えた後に

- 1 ディスプレイアセンブリを取り付けます。
- 2 ワイヤレスカードを取り付けます。
- 3 I/O ボードを取り付けます。
- 4 ベースカバーを取り付けます。

システム基板の取り外し

⚠ 警告: コンピュータ内部の作業を始める前に、お使いのコンピュータに付属している「安全にお使いいただくための注意事項」を読んで、「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順を実行してください。コンピュータ内部の作業を終えた後は、「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の指示に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの詳細については、規制順守ホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。

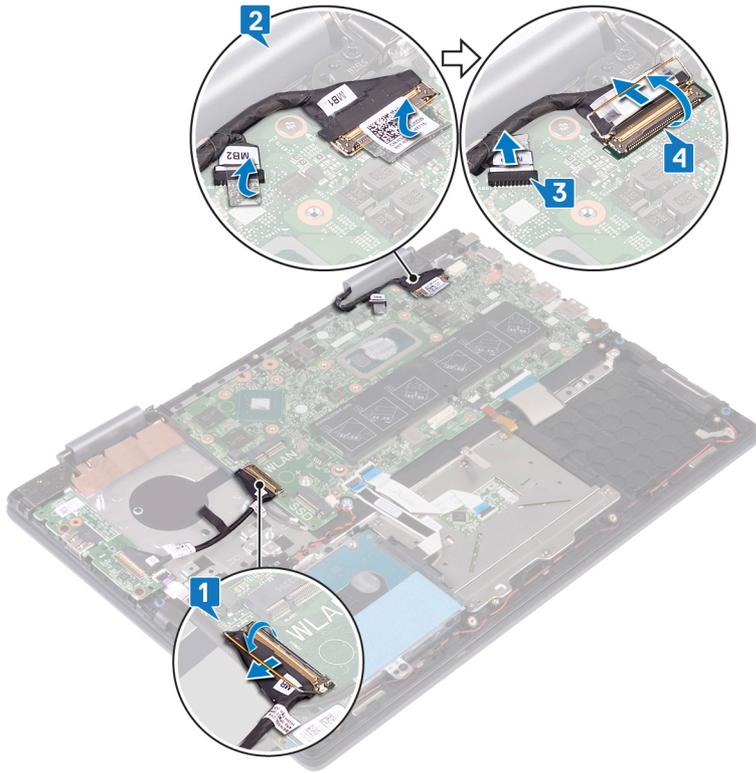
- ① **メモ:** システム基板には、コンピューターのサービスタグが保存されています。システム基板を取り付けた後、BIOS セットアッププログラムでこのサービスタグを入力する必要があります。
- ① **メモ:** システム基板を取り付けると、BIOS セットアッププログラムで行った BIOS への変更はすべて削除されます。システム基板を取り付けた後に、再度適切な変更を行う必要があります。
- ① **メモ:** システム基板からケーブルを外す前に、各コネクタの位置をメモしておき、システム基板の取り付け後に正しく元の場所に戻すことができるようにしてください。

前提条件

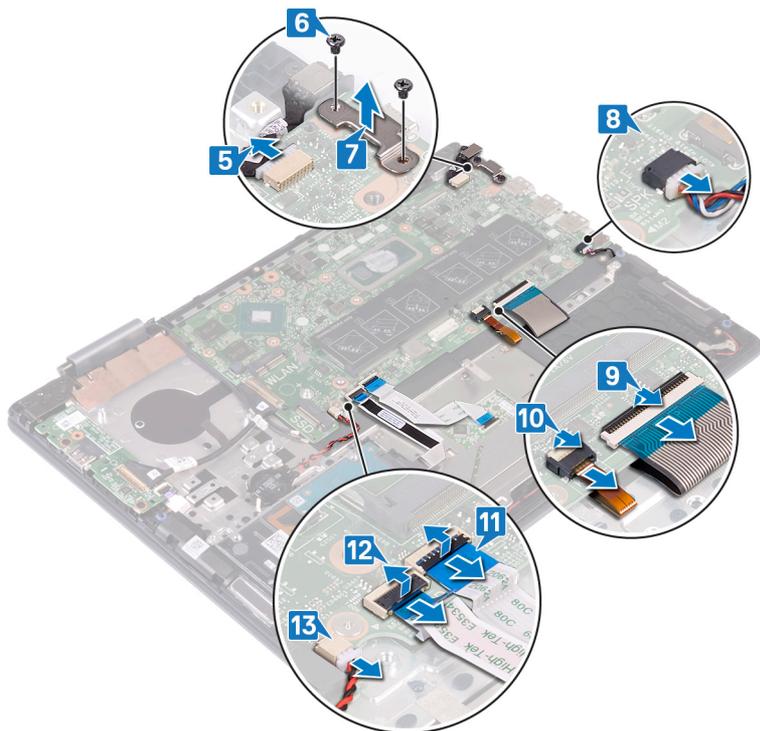
- 1 ベースカバーを取り外します。
- 2 バッテリーを取り外します。
- 3 メモリモジュールを取り外します。
- 4 コイン型電池を取り外します。
- 5 ソリッドステートドライブ/インテル Optane メモリ モジュールを取り外します。
- 6 ファンを取り外します。
- 7 ヒートシンクを取り外します。
- 8 ワイヤレスカードを取り外します。

手順

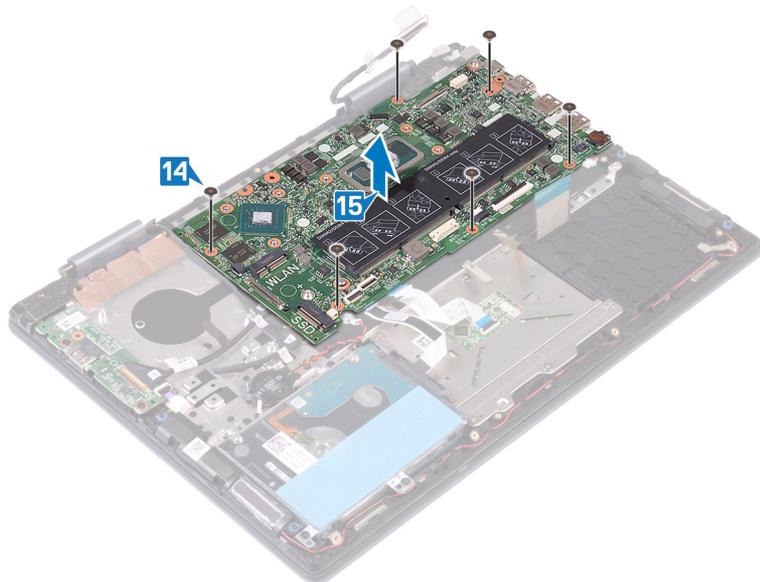
- 1 ラッチを開いて、I/O ボードケーブルをシステム基板から外します。
- 2 モニター ケーブルとタッチスクリーン ボード ケーブルをシステム基板に固定しているテープをはがします。
- 3 タッチスクリーン ボード ケーブルをシステム基板から外します。
- 4 ラッチを開き、モニター ケーブルをシステム基板から外します。



- 5 電源アダプタポートケーブルをシステム基板から外します。
- 6 USB Type-C ポート ブラケットをシステム基板とパームレスト アセンブリーに固定している 2 本のネジ (M2x3) を外します。
- 7 USB Type-C ポート ブラケットを持ち上げて、システム基板から取り外します。
- 8 スピーカーケーブルをシステム基板から外します。
- 9 ラッチを開いて、システム基板からキーボードケーブルを外します。
- 10 ラッチを開き、キーボード バックライト ケーブルをシステム基板から外します。
- 11 ラッチを開き、タッチパッド ケーブルをシステム基板から外します。
- 12 ラッチを開いて、ハードドライブケーブルをシステム基板から外します。
- 13 コイン型電池ケーブルをシステム基板から外します。



- 14 システム基板をパームレストとキーボードアセンブリーに固定している6本のネジ（M2x2）を外します。
- 15 システム基板を持ち上げて、パームレストとキーボードアセンブリーから取り外します。



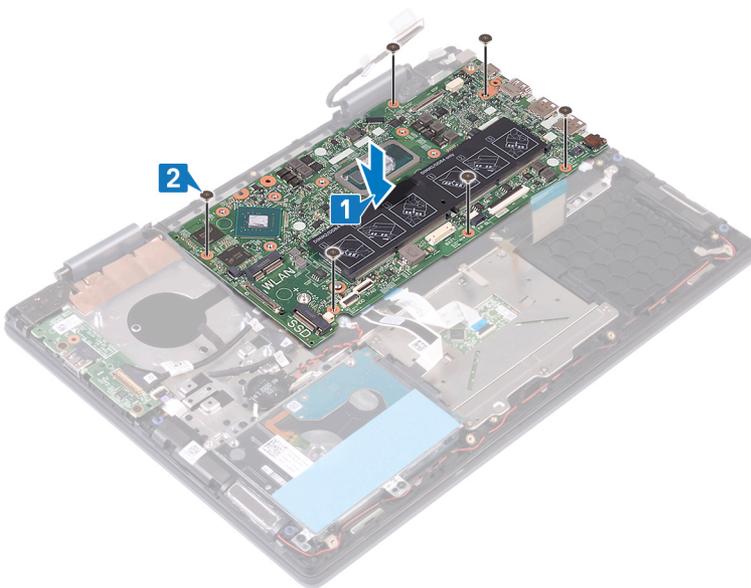
システム基板の取り付け

⚠ 警告: コンピュータ内部の作業を始める前に、お使いのコンピュータに付属している「安全にお使いいただくための注意事項」を読んで、「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順を実行してください。コンピュータ内部の作業を終えた後は、「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の指示に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの詳細については、規制順守ホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。

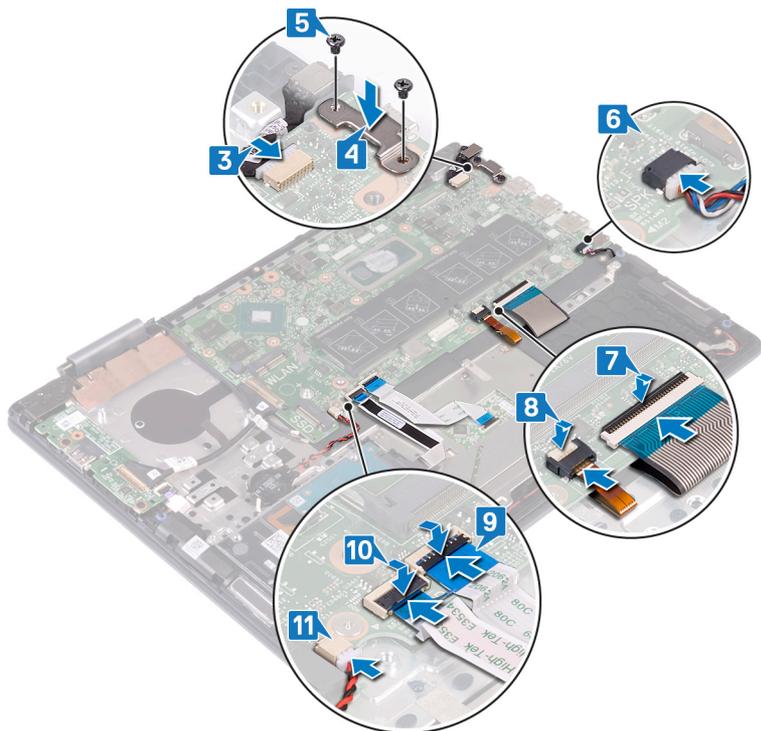
- ① **メモ:** システム基板には、コンピュータのサービスタグが保存されています。システム基板を取り付けた後、BIOS セットアッププログラムでこのサービスタグを入力する必要があります。
- ① **メモ:** システム基板を取り付けると、BIOS セットアッププログラムで行った BIOS への変更はすべて削除されます。システム基板を取り付けた後に、再度適切な変更を行う必要があります。

手順

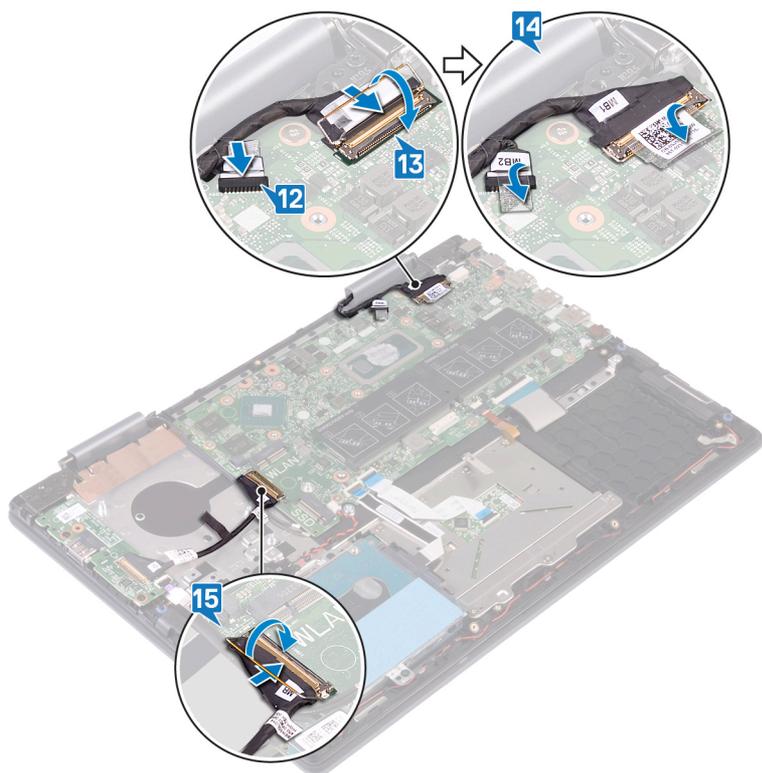
- 1 システム基板のネジ穴をパームレストとキーボードアセンブリーのネジ穴に合わせます。
- 2 システム基板をパームレストとキーボードアセンブリーに固定する 6 本のネジ (M2x2) を取り付けます。



- 3 電源アダプタポートケーブルをシステム基板に接続します。
- 4 USB Type-C ポート ブラケットのネジ穴をシステム基板のネジ穴に合わせます。
- 5 USB Type-C ポート ブラケットをシステム基板に固定する 2 本のネジ (M2x3) を取り付けます。
- 6 システム基板にスピーカーケーブルを接続します。
- 7 キーボードケーブルをシステム基板のコネクタに差し込み、ラッチを閉じてケーブルを固定します。
- 8 キーボードバックライトケーブルをシステム基板のコネクタに差し込み、ラッチを閉じてケーブルを固定します。
- 9 タッチパッドケーブルをシステム基板のコネクタに差し込み、ラッチを閉じてケーブルを固定します。
- 10 ハードドライブケーブルをシステム基板のコネクタに差し込み、ラッチを閉じてケーブルを固定します。
- 11 コイン型電池をシステム基板に接続します。



- 12 タッチスクリーン ボードケーブルをシステム基板に接続します。
- 13 ディスプレイケーブルをシステム基板のコネクタに差し込み、ラッチを閉じてケーブルを固定します。
- 14 モニター ケーブルとタッチスクリーン ボード ケーブルをシステム基板の各コネクタに固定するテープを貼り付けます。
- 15 I/O ボードケーブルをシステム基板のコネクタに差し込み、ラッチを閉じてケーブルを固定します。



作業を終えた後に

- 1 ワイヤレスカードを取り付けます。
- 2 ヒートシンクを取り付けます。
- 3 ファンを取り付けます。
- 4 ソリッドステートドライブ/インテル Optane メモリ モジュールを取り付けます。
- 5 コイン型電池を取り付けます。
- 6 メモリモジュールを取り付けます。
- 7 バッテリーを取り付けます。
- 8 ベースカバーを取り付けます。

タッチパッドの取り外し

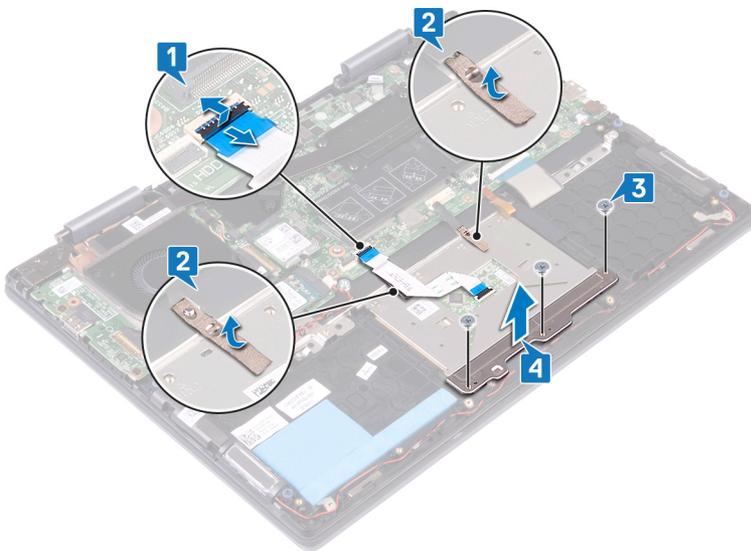
△ 警告: コンピュータ内部の作業を始める前に、お使いのコンピュータに付属している「安全にお使いいただくための注意事項」を読んで、「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順を実行してください。コンピュータ内部の作業を終えた後は、「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の指示に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの詳細については、規制順守ホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。

前提条件

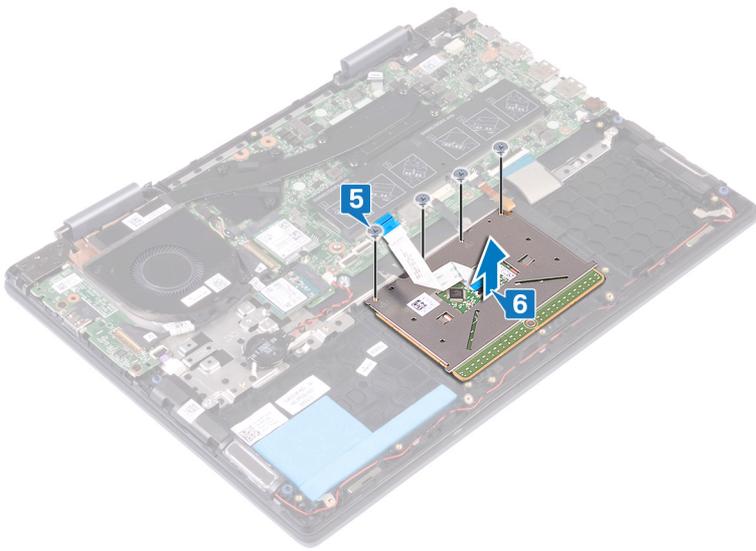
- 1 ベースカバーを取り外します。
- 2 バッテリーを取り外します。

手順

- 1 ラッチを開き、タッチパッド ケーブルをシステム基板から外します。
- 2 タッチパッドをパーム レストとキーボード アセンブリーに固定しているテープをはがします。
- 3 タッチパッド ブラケットをパーム レストとキーボード アセンブリーに固定している 3 本のネジ (M2x2) を外します。
- 4 タッチパッド ブラケットを持ち上げて、パーム レストとキーボード アセンブリーから取り外します。



- 5 タッチパッドをパーム レストとキーボード アセンブリーに固定している 4 本のネジ (M2x2) を外します。
- 6 タッチパッドをケーブルと一緒にタッチパッド ブラケットの下から傾けて持ち上げ、パーム レストとキーボード アセンブリーから取り外します。

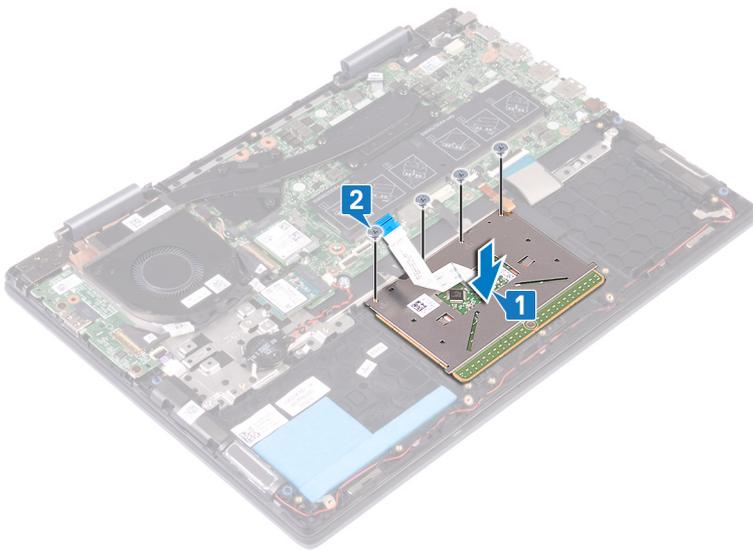


タッチパッドの取り付け

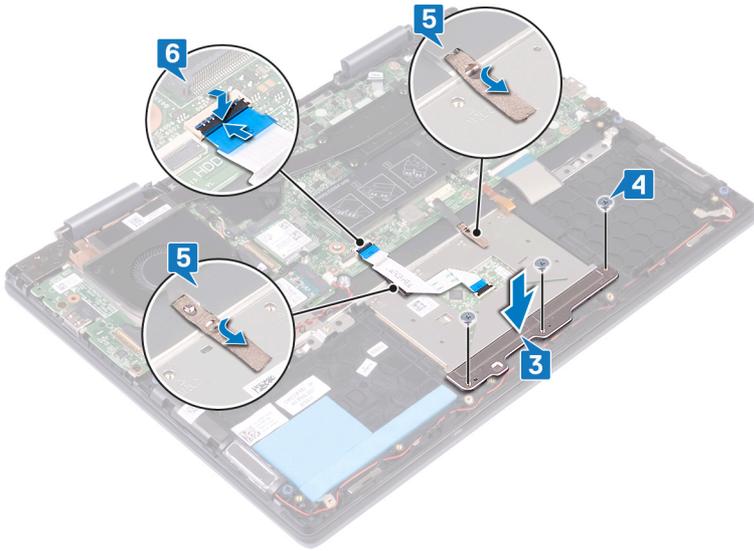
△ 警告: コンピュータ内部の作業を始める前に、お使いのコンピュータに付属している「安全にお使いいただくための注意事項」を読んで、「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順を実行してください。コンピュータ内部の作業を終えた後は、「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の指示に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの詳細については、規制順守ホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。

手順

- 1 タッチパッドのネジ穴をパームレストとキーボードアセンブリーのネジ穴に合わせます。
- 2 タッチパッドをパームレストとキーボードアセンブリーに固定する 4 本のネジ (M2x2) を取り付けます。



- 3 タッチパッドブラケットのネジ穴をタッチパッドのネジ穴に合わせます。
- 4 タッチパッドブラケットをタッチパッドに固定する 3 本のネジ (M2x2) を取り付けます。
- 5 タッチパッドをキーボードシールドに固定するテープを貼り付けます。
- 6 タッチパッドケーブルをシステム基板のコネクタに差し込み、ラッチを閉じてケーブルを固定します。



作業を終えた後に

- 1 バッテリーを取り付けます。
- 2 ベースカバーを取り付けます。

パームレストとキーボードアセンブリの取り外し

△ 警告: コンピュータ内部の作業を始める前に、お使いのコンピュータに付属している「安全にお使いいただくための注意事項」を読んで、「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順を実行してください。コンピュータ内部の作業を終えた後は、「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の指示に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの詳細については、規制順守ホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。

前提条件

- 1 ベースカバーを取り外します。
- 2 バッテリーを取り外します。
- 3 メモリモジュールを取り外します。
- 4 コイン型電池を取り外します。
- 5 ソリッドステートドライブ/インテル Optane メモリモジュールを取り外します。
- 6 ハードドライブを取り外します。
- 7 ヒートシンクを取り外します。
- 8 ファンを取り外します。
- 9 I/O ボードを取り外します。
- 10 スピーカーを取り外します。
- 11 電源アダプタポートを取り外します。
- 12 ワイヤレスカードを取り外します。
- 13 ディスプレイアセンブリを取り外します。
- 14 電源ボタン (指紋認証リーダー内蔵) を取り外します。(取り付けられている場合)。
- 15 システム基板を取り外します。
- 16 タッチパッドを取り外します。

手順

「作業を開始する前に」の手順を実行してから、パームレストとキーボードアセンブリを取り外します。



パームレストとキーボードアセンブリの取り付け

△ 警告: コンピュータ内部の作業を始める前に、お使いのコンピュータに付属している「安全にお使いいただくための注意事項」を読んで、「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順を実行してください。コンピュータ内部の作業を終えた後は、「コンピュータ内部の作業を終えた後に」の指示に従ってください。安全にお使いいただくためのベストプラクティスの詳細については、規制順守ホームページ (www.dell.com/regulatory_compliance) をご覧ください。

手順

パームレストとキーボードアセンブリを清潔で平らな場所に置きます。



作業を終えた後に

- 1 タッチパッドを取り付けます。
- 2 システム基板を取り付けます。
- 3 電源ボタン (指紋認証リーダー内蔵) を取り付けます。(取り付けられている場合)。
- 4 ディスプレイアセンブリを取り付けます。
- 5 ワイヤレスカードを取り付けます。
- 6 電源アダプタポートを取り付けます。
- 7 スピーカーを取り付けます。
- 8 I/O ボードを取り付けます。
- 9 ファンを取り付けます。
- 10 ヒートシンクを取り付けます。
- 11 ハードドライブを取り付けます。
- 12 ソリッドステートドライブ/インテル Optane メモリ モジュールを取り付けます。
- 13 コイン型電池を取り付けます。
- 14 メモリモジュールを取り付けます。
- 15 バッテリーを取り付けます。

16 ベースカバーを取り付けます。

デバイスドライバ

Intel チップセットソフトウェアインストールユーティリティ

デバイスマネージャでチップセットドライバがインストールされているかどうかを確認します。

www.dell.com/support から Intel チップセットのアップデートをインストールします。

ビデオドライバ

デバイスマネージャでビデオドライバがインストールされているかどうかを確認します。

www.dell.com/support からビデオドライバのアップデートをインストールします。

Intel シリアル IO ドライバ

デバイスマネージャで Intel シリアル I/O ドライバがインストールされているかどうかを確認します。

www.dell.com/support からドライバのアップデートをインストールします。

Intel シリアル IO ドライバ

デバイスマネージャで Intel シリアル I/O ドライバがインストールされているかどうかを確認します。

www.dell.com/support からドライバのアップデートをインストールします。

Intel Trusted Execution Engine インタフェース

デバイスマネージャで、Intel Trusted Execution Engine インタフェースドライバがインストールされているかどうかを確認します。

www.dell.com/support からドライバのアップデートをインストールします。

Intel Virtual Button ドライバ

デバイスマネージャで Intel Virtual Button ドライバがインストールされているかどうかを確認します。

www.dell.com/support からドライバのアップデートをインストールします。

ワイヤレスおよび Bluetooth ドライバ

デバイスマネージャでネットワークカードドライバがインストールされているかどうかを確認します。

www.dell.com/support からドライバのアップデートをインストールします。

デバイスマネージャで Bluetooth ドライバがインストールされているかどうかを確認します。

www.dell.com/support からドライバのアップデートをインストールします。

セットアップユーティリティ

① | **メモ:** お使いのコンピューターおよび取り付けられているデバイスによっては、本項に一覧表示された項目の一部がない場合があります。

起動順序

起動順序を利用すると、セットアップユーティリティで定義されたデバイス起動順序をバイパスし、特定のデバイス（例：光学ドライブまたはハードドライブ）から直接起動することができます。パワーオンセルフテスト（POST）中に Dell のロゴが表示されたら、次のことが可能です。

- <F2> を押してセットアップユーティリティにアクセスする
- <F12> を押して 1 回限りの起動メニューを立ち上げる

1 回限りの起動メニューでは診断オプションを含むオプションから起動可能なデバイスを表示します。起動メニューのオプションは以下のとおりです。

- リムーバブルドライブ(利用可能な場合)
- STXXXX ドライブ

① | **メモ:** XXX は、SATA ドライブの番号を意味します。

- 光学ドライブ（利用可能な場合）
- SATA ハードドライブ（利用可能な場合）
- 診断

① | **メモ:** Diagnostics（診断）を選択すると ePSA 診断画面が表示されます。

起動順序画面ではシステムセットアップ画面にアクセスするオプションを表示することも可能です。

ナビゲーションキー

① | **メモ:** ほとんどのセットアップユーティリティオプションで、変更内容は記録されますが、システムを再起動するまでは有効になりません。

キー	ナビゲーション
上向き矢印	前のフィールドに移動します。
下向き矢印	次のフィールドへ移動します。
Enter	選択したフィールドの値を選択するか（該当する場合）、フィールド内のリンクに移動します。
スペースバー	ドロップダウンリストがある場合は、展開したり折りたたんだりします。
タブ	次のフォーカス対象領域に移動します。 ① メモ: 標準グラフィックブラウザ用に限られます。
Esc	メイン画面が表示されるまで、前のページに移動します。メイン画面で Esc キーを押すと、未保存の変更内容を保存してシステムを再起動するように促すメッセージが表示されます。

BIOS の概要

△ | **注意:** コンピューターの専門知識がない場合は、BIOS セットアッププログラムでの設定変更は避けてください。設定を間違えるとコンピューターが正常に動作しなくなる可能性があります。

① **メモ:** BIOS セットアッププログラムを変更する前に、今後の参照用に、BIOS セットアッププログラム画面の情報を控えておくことをお勧めします。

BIOS セットアッププログラムは、次のような目的で使用します。

- RAM の容量やハードドライブのサイズなど、コンピュータに取り付けられているハードウェアに関する情報の取得。
- システム設定情報の変更。
- ユーザーパスワード、取り付けられたハードドライブの種類、基本デバイスの有効化または無効化など、ユーザー選択可能オプションの設定または変更。

BIOS セットアッププログラムの起動

- 1 コンピューターの電源を入れます (または再起動します)。
- 2 POST 実行中に、DELL のロゴが表示されたら、F2 プロンプトが表示されるのを待ち、表示直後に <F2> を押します。

① **メモ:** F2 プロンプトは、キーボードが初期化されていることを示します。このプロンプトは短時間しか表示されないため、表示を注意して待ち、<F2>を押してください。F2 プロンプトが表示される前に <F2> を押した場合、そのキーストロークは無視されます。キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されたら、デスクトップが表示されるまでそのまま待機します。その後、コンピュータの電源を切り、操作をやり直してください。

セットアップユーティリティのオプション

① **メモ:** コンピュータおよび取り付けられているデバイスによっては、本項に一覧表示されている項目の一部がない場合があります。

表 3. セットアップユーティリティのオプション — システム情報メニュー

一般システム情報

システム情報

BIOS Version	BIOS のバージョン番号を表示します。
Service Tag	コンピュータのサービスタグを表示します。
Asset Tag	コンピュータのアセットタグを表示します。
Ownership Tag	コンピュータの所有者タグを表示します。
Manufacture Date	コンピュータの製造日を表示します。
Ownership Date	コンピュータの購入日を表示します。
Express Service Code	コンピュータのエクスプレスサービスコードを表示します。

メモリ情報

Memory Installed	インストールされているコンピュータメモリの合計を表示します。
Memory Available	使用可能なコンピュータメモリの合計を表示します。
Memory Speed	メモリ速度を表示します。
Memory Channel Mode	シングルまたはデュアルチャネルモードを表示します。
Memory Technology	メモリに使用されているテクノロジーを表示します。
DIMM A Size	DIMM A のメモリサイズを表示します。
DIMM B Size	DIMM B のメモリサイズを表示します。

プロセッサ情報

Processor Type	プロセッサの種類を表示します。
Core Count	プロセッサのコアの数を表示します。
Processor ID	プロセッサの識別コードを表示します。

一般システム情報

Current Clock Speed	プロセッサの現在のクロック速度を表示します。
Minimum Clock Speed	プロセッサの最低クロック速度を表示します。
Maximum Clock Speed	プロセッサの最高クロック速度を表示します。
Processor L2 Cache	プロセッサの L2 キャッシュサイズを表示します。
Processor L3 Cache	プロセッサの L3 キャッシュサイズを表示します。
HT Capable	プロセッサがハイパースレッディング (HT) に対応しているかどうかを表示します。
64-Bit Technology	64 ビットテクノロジーが使用されているかどうかを表示します。

デバイス情報

SATA-0	コンピュータの SATA-0 デバイス情報を表示します。
SATA-1	コンピュータの SATA-1 デバイス情報を表示します。
LOM MAC Address	コンピュータの LAN On Motherboard (LOM) MAC アドレスを表示します。
Video Controller	コンピュータのビデオコントローラのタイプを表示します。
dGPU Video Controller	コンピュータの外付けグラフィックスの情報を表示します。
Video BIOS Version	コンピュータのビデオ BIOS のバージョンを表示します。
Video Memory	コンピュータのビデオメモリ情報を表示します。
Panel Type	コンピュータのパネルのタイプを表示します。
Native Resolution	コンピュータのネイティブ解像度を表示します。
Audio Controller	コンピュータのオーディオコントローラ情報を表示します。
Wi-Fi Device	コンピュータのワイヤレスデバイスの情報を表示します。
Bluetooth Device	コンピュータの Bluetooth デバイス情報を表示します。
Battery Information	Bluetooth がコンピュータにインストールされているかを表示します。

Boot Sequence

Boot Sequence	起動順序を表示します。
Boot List Option	利用可能な起動オプションを表示します。

詳細起動オプション

Enable Legacy Option ROMs	レガシー オプション ROM を有効または無効にします。
---------------------------	------------------------------

UEFI Boot Path Security

F12 起動メニューから UEFI 起動パスを起動するときにユーザーが管理者パスワードを入力できる機能を、有効または無効にします。

Date/Time

現在の日付を MM/DD/YY 形式で、現在の時刻を HH:MM:SS AM/PM 形式で表示します。

表 4. セットアップユーティリティのオプション — システム設定メニュー

システム設定

SATA Operation	内蔵 SATA ハードドライブコントローラの動作モードを設定します。
Drives	基板上の各種ドライブを有効または無効にします。
SMART Reporting	システムの起動中に Self-Monitoring, Analysis, and Reporting Technology (SMART) を有効または無効にします。
USB 設定	
Enable Boot Support	外付ハードドライブ、光学ドライブ、USB ドライブのような USB 大容量ストレージ デバイスからの起動を有効または無効にします。

システム設定

Enable External USB Port	外部 USB ポートに接続されている USB 大容量ストレージ デバイスからの起動を有効または無効にします。
USB PowerShare	USB PowerShare を有効または無効にします。
オーディオ	オンボードオーディオコントローラを有効あるいは無効にします。
Keyboard Illumination	キーボード ライト機能のモードを選択することができます。
Keyboard Backlight Timeout on AC (AC でのキーボードバックライトのタイムアウト)	電源アダプタが接続されている場合、キーボード バックライトのタイムアウト値を定義できます。
Keyboard Backlight Timeout on Battery (バッテリでのキーボードバックライトのタイムアウト)	コンピューターがバッテリで動作している場合、キーボード バックライトのタイムアウト値を定義できます。
Miscellaneous Devices	各種オンボードデバイスを有効または無効にします。
Enable Camera	カメラを有効または無効にします。

表 5. セットアップユーティリティのオプション — ビデオメニュー

ビデオ

LCD Brightness	バッテリーおよび AC 電源用にパネルの明るさを別々に設定します。
----------------	-----------------------------------

表 6. セットアップユーティリティのオプション — セキュリティメニュー

セキュリティ

Admin Password	管理者パスワードを設定、変更、または削除します。
System Password	システムパスワードを設定、変更、または削除します。
Internal HDD-0 Password	内蔵ハードディスクドライブのパスワードを設定、変更、または削除します。
Strong Password	強力なパスワードを有効または無効にします。
Password Configuration	管理者パスワードとシステムパスワードの最小、および最大文字数を設定します。
Password Bypass	システムの再起動中に、システム (起動) パスワードと内蔵 HDD パスワード入力のダイアログをスキップすることができます。
Password Change	管理者パスワードが設定されている場合に、システムパスワードとハードディスクパスワードの変更を有効または無効にします。
Non-Admin Setup Changes	管理者パスワードが設定されている場合に、セットアップオプションの変更を許可するかどうかを決定します。
UEFI Capsule Firmware Updates	UEFI カプセルアップデートパッケージで BIOS アップデートを有効または無効にします。
PTT Security	オペレーティングシステムへの Platform Trust Technology (PTT) の可視性を有効または無効にします。
Computrace(R)	オプションの Absolute Software 社製 Computrace(R) Service の BIOS モジュールインタフェースを有効または無効にします。
Admin Setup Lockout	管理者パスワードが設定されている場合に、ユーザーによるセットアップユーティリティの起動を防止することができます。
Master Password Lockout	マスター パスワードのロックアウト サポートを有効または無効にします。
SMM セキュリティ軽減	追加の UEFI セキュリティ軽減の保護機能を有効または無効にします。

表 7. セットアップユーティリティのオプション — 安全起動メニュー

安全起動	
Secure Boot Enable	安全起動機能を有効または無効にします。
Secure Boot Mode	ユーザーがセキュア ブート モードを選択できる機能を有効または無効にします。
Expert Key Management	
カスタムモードを有効にする	カスタム モードを有効または無効にします。
Expert Key Management	エキスパート キー管理を有効または無効にします。
Custom Mode Key Management	エキスパートキー管理用にカスタム値を選択します。

表 8. セットアップユーティリティのオプション — Intel ソフトウェアガードエクステンションメニュー

Intel Software Guard Extensions	
Intel SGX Enable	Intel ソフトウェアガードエクステンションを有効または無効にします。
Enclave Memory Size	Intel ソフトウェアガードエクステンションのエンクレイブリザーブメモリサイズを設定します。
パフォーマンス	
Multi Core Support	複数のコアを有効にします。 デフォルト：Enabled (有効)。
Intel SpeedStep	Intel SpeedStep Technology を有効または無効にします。 デフォルト：Enabled (有効)。
	① メモ: 有効にすると、プロセッサのクロックスピードとコア電圧がプロセッサ負荷に基づいて動的に調整されます。
C-States Control	追加のプロセッサのスリープ状態を有効または無効にします。 デフォルト：Enabled (有効)。
Intel TurboBoost	プロセッサの Intel TurboBoost モードを有効または無効にします。 デフォルト：Enabled (有効)。
HyperThread Control (ハイパースレッドコントロール)	プロセッサのハイパースレッディングを有効または無効にします。 デフォルト：Enabled (有効)。
電源管理	
AC Behavior	AC が挿入されるとシステムが自動的に電源オンになります。
Enable Intel Speed Shift Technology	Intel Speed Shift テクノロジーのサポートを有効または無効にします。
Auto On Time	毎日または事前に選択した日付および時刻に自動的に電源をオンにするようにコンピュータを設定できます。Auto on Time が毎日、平日、または選択した日に設定されている場合のみ、このオプションを設定できます。 デフォルト：Disabled (無効)
USB Wake Support	USB デバイスでコンピューターをスタンバイからウェイクさせることができます。
Block Sleep	OS の環境でスリープ モードに入るのをブロックすることができます。
Advanced Battery Charge Configuration	その日の始まりから指定した作業時間までの高度なバッテリー充電設定を有効にします。
Primary Battery Charge Configuration	事前に選択したカスタム充電の開始と停止で、プライマリ バッテリー充電を設定します。 デフォルト：Adaptive (適応)

POST 動作

Adapter Warnings	アダプタの警告を有効にします。 デフォルト：Enabled (有効)。
Fn Lock Options	Fn Lock モードを有効または無効にします。
Fastboot	起動プロセスの速度を設定できます。 デフォルト：Thorough (完全)
Extend BIOS POST Time	BIOS の POST 時間を設定します。
Full Screen logo	お使いのイメージが画面解像度に一致する場合に、フルスクリーンロゴを表示することができます。
警告およびエラー	起動プロセス実行時に警告およびエラーが検出された場合に、コンピューターを一時停止させることができます。
MAC アドレスのパススルー	外部 NIC の MAC アドレスを置換します。

表 9. セットアップユーティリティのオプション — 仮想化サポートメニュー

仮想化サポート

Virtualization	Intel Virtualization Technology によって提供される追加のハードウェア機能を、Virtual Machine Monitor (VMM) が利用できるようにするかどうかを指定します。
VT for Direct I/O	ダイレクト I/O 用 Intel Virtualization Technology によって提供される追加のハードウェア機能を、Virtual Machine Monitor (VMM) で使用できるようにするかどうかを指定します。

表 10. セットアップユーティリティのオプション — ワイヤレスメニュー

ワイヤレス

Wireless Switch	ワイヤレススイッチでワイヤレスデバイスを制御できるかどうか決定します。
Wireless Device Enable	内蔵ワイヤレスデバイスを有効または無効にします。

表 11. セットアップユーティリティのオプション — メンテナンスメニュー

メンテナンス

Service Tag	システムのサービスタグを表示します。
Asset Tag	システムアセットタグを作成します。
BIOS Downgrade	システムファームウェアの以前のリリースへのフラッシングを制御します。
Data Wipe	すべての内蔵ストレージデバイスからデータを安全に消去できます。
BIOS Recovery	ユーザーは、ユーザーのプライマリハードドライブまたは外付け USB キーのリカバリファイルから、特定の破損した BIOS 状況をリカバリできます。
First Power On Date	所有権の日付を設定します。

表 12. セットアップユーティリティのオプション — システムログメニュー

システムログ

BIOS Events	BIOS イベントを表示します。
Thermal Events	サーマルイベントを表示します。

表 13. セットアップユーティリティのオプション — SupportAssist システムの解決策メニュー

SupportAssist システムの解決策

Auto OS Recovery Threshold	SupportAssist システム解決策コンソール、Dell OS リカバリツールの自動起動フローを制御します。
SupportAssist OS Recovery	特定のシステムエラーの発生時に、SupportAssist OS リカバリツールの起動フローを有効または無効にします。

CMOS 設定のクリア

△ | 注意: CMOS 設定をクリアすると、コンピューターの BIOS の設定がリセットされます。

- 1 ベースカバーを取り外します。
- 2 バッテリーケーブルをシステム基板から外します。
- 3 コイン型電池を取り外します。
- 4 1 分間待ちます。
- 5 コイン型電池を取り付けます。
- 6 バッテリーケーブルをシステム基板に接続します。
- 7 ベースカバーを取り付けます。

BIOS (システム セットアップ) パスワードとシステム パスワードのクリア

システム パスワードまたは BIOS パスワードをクリアするには、www.dell.com/contactdell の説明に従って、デルのテクニカル サポートまでお問い合わせください。

① | メモ: Windows またはアプリケーションのパスワードをリセットする方法については、Windows またはお使いのアプリケーションに付属のマニュアルを参照してください。

トラブルシューティング

BIOS のフラッシュ

更新がある場合やシステム基板を取り付けるときに BIOS のフラッシュ（更新）を行う必要があります。

BIOS をフラッシュするには、次の手順を実行します。

- 1 コンピュータの電源を入れます。
- 2 www.dell.com/support にアクセスします。
- 3 **Product Support（製品サポート）** をクリックし、お使いのコンピュータのサービスタグを入力して、**Submit（送信）** をクリックします。

① **メモ:** サービスタグがない場合は、自動検出機能を使用するか、お使いのコンピュータのモデルを手動で参照してください。

- 4 **Drivers & downloads（ドライバとダウンロード） > Find it myself（自分で検索）** をクリックします。
- 5 お使いのコンピュータにインストールされているオペレーティングシステムを選択します。
- 6 ページを下にスクロールして、**BIOS** を展開します。
- 7 **Download（ダウンロード）** をクリックして、お使いのコンピュータの BIOS の最新バージョンをダウンロードします。
- 8 ダウンロードが完了したら、BIOS アップデートファイルを保存したフォルダに移動します。
- 9 BIOS アップデートファイルのアイコンをダブルクリックし、画面に表示される指示に従います。

BIOS のフラッシュ（USB キー）

- 1 「[BIOS のフラッシュ](#)」の手順 1 ~ 7 に従って、最新の BIOS セットアッププログラムファイルをダウンロードします。
- 2 ブータブル USB ドライブを作成します。詳細については、技術情報記事 [SLN143196（www.dell.com/support）](#) を参照してください。
- 3 BIOS セットアッププログラムファイルをブータブル USB ドライブにコピーします。
- 4 BIOS アップデートを必要とするコンピュータに、ブータブル USB ドライブを接続します。
- 5 Dell のロゴが画面に表示されたら、コンピュータを再起動して **F12** を押します。
- 6 **One Time Boot Menu**（1 回限りの起動メニュー）で、USB ドライブからの起動を選択します。
- 7 BIOS セットアッププログラムのファイル名を入力し、**Enter** を押します。
- 8 **BIOS Update Utility**（BIOS アップデートユーティリティ）が表示されます。画面の指示に従って、BIOS アップデートを完了させます。

ePSA（強化された起動前システムアセスメント）診断

△ **注意:** ePSA 診断は、お使いのコンピュータをテストする場合にのみ使用してください。このプログラムを他のコンピュータで使用すると、無効な結果やエラーメッセージが発生する場合があります。

ePSA 診断（システム診断とも呼ばれます）では、ハードウェアの完全なチェックが行われます。ePSA は BIOS に組み込まれており、内部的に BIOS によって起動されます。内蔵されたシステム診断プログラムには、特定のデバイスやデバイスグループ用の一連のオプションが用意されており、以下の処理が可能です。

- テストを自動的に、または対話モードで実行
- テストの繰り返し
- テスト結果の表示または保存
- 詳細なテストで追加のテストオプションを実行し、障害の発生したデバイスに関する詳しい情報を得る
- テストが問題なく終了したかどうかを知らせるステータスメッセージを表示
- テスト中に発生した問題を通知するエラーメッセージを表示

① **メモ:** 一部のデバイス用のテストでは、ユーザーの操作が必要な場合があります。診断テストを実行する際には、コンピュータ端末の前に必ずいるようにしてください。

詳細については、「[Dell EPSA 診断 3.0](#)」を参照してください。

ePSA 診断の実行

- 1 コンピュータの電源を入れます。
- 2 コンピュータが起動し、Dell のロゴが表示されたら <F12> キーを押します。
- 3 起動メニュー画面で、**診断** オプションを選択します。
- 4 左下隅にある矢印をクリックします。
診断のトップページが表示されます。
- 5 右上隅にある矢印をクリックして、ページのリストに移動します。
検知されたアイテムが一覧表示されます。
- 6 特定のデバイスで診断テストを実行するには、<Esc> を押して **はい** をクリックし、診断テストを中止します。
- 7 左のパネルからデバイスを選択し、**テストの実行** をクリックします。
- 8 問題がある場合、エラーコードが表示されます。
エラーコードと検証番号をメモしてデルに連絡してください。

診断

電源およびバッテリー ステータス ライト :

コンピュータの電源およびバッテリーのステータスを示します。

白色に点灯 - 電源アダプタが接続されており、バッテリーが充電中です。

橙色に点灯 - バッテリーの残量が低またはクリティカルです。

消灯 - バッテリーはフル充電されています。

例えば、電源およびバッテリーステータスライトが、橙色に 2 回点滅して停止し、次に白色に 3 回点滅して停止します。この 2,3 のパターンは、コンピュータの電源が切れるまで続き、メモリまたは RAM が検出されないことを示しています。

次の表は、異なるライトパターンとその意味を示しています。

表 14. 診断

ライトパターン	問題の内容
2,1	CPU の障害です
2,2	システム基盤 : BIOS および ROM の障害です
2,3	メモリまたは RAM が検出されませんでした
2,4	メモリまたは RAM の障害です
2,5	無効なメモリが取り付けられています
2,6	システム基板またはチップセットのエラーです
2,7	LCD の障害です
3,1	CMOS バッテリーの障害です
3,2	PCI/ ビデオカードの障害です
3,3	リカバリイメージが見つかりません

カメラステータスライト：カメラが使用されているかどうかを示します。

- 白色 - カメラが使用中です。
- 消灯 - カメラは使用されていません。

キャップスロックステータスライト：キャップスロックが有効か、それとも無効かを示します。

- 白色 - キャップスロックが有効です。
- 消灯 - キャップスロックが無効です。

インテル Optane メモリの有効化

- 1 タスクバーで検索ボックスをクリックし、インテル Rapid Storage Technology と入力します。
- 2 **インテル Rapid Storage Technology** をクリックします。
インテル Rapid Storage Technology ウィンドウが表示されます。
- 3 **ステータスタブで有効にする**をクリックして、インテル Optane メモリを有効にします。
- 4 警告画面で互換性のある高速のドライブを選択し、**はい**をクリックして、インテル Optane メモリの有効化を続行します。
- 5 **インテル Optane メモリ > 再起動**をクリックして、インテル Optane メモリの有効化を完了します。

① **メモ**: パフォーマンスで最大限のメリットを得るには、有効化後にアプリケーションを最大で 3 回起動しなければならない場合があります。

Intel Optane メモリの無効化

△ **注意**: Intel Optane メモリを無効にした後で Intel Rapid Storage Technology ドライバを削除しようとししないでください。ブルースクリーンエラーが発生します。Intel Rapid Storage Technology のユーザーインターフェイスは、ドライバをアンインストールしなくても削除できます。

① **メモ**: システムから Intel Optane メモリによって高速化されている SATA ストレージデバイスまたは Intel Optane メモリモジュールを取り外す前に、Intel Optane メモリを無効にする必要があります。

- 1 タスクバーで検索ボックスをクリックし、Intel Rapid Storage Technology と入力します。
- 2 **Intel Rapid Storage Technology** をクリックします。
Intel Rapid Storage Technology ウィンドウが表示されます。
- 3 **Intel Optane memory (Intel Optane メモリ)** タブで、**Disable (無効化)** をクリックし、Intel Optane メモリを無効にします。
- 4 警告を受け入れる場合は、**Yes (はい)** をクリックします。
無効化の進捗状況が表示されます。
- 5 **Reboot (再起動)** をクリックして、Intel Optane メモリの無効化を完了し、コンピュータを再起動します。

Wi-Fi 電源の入れ直し

お使いのコンピューターが Wi-Fi 接続の問題が原因でインターネットにアクセスできない場合は、Wi-Fi 電源の入れ直し手順を実施することができます。次に、Wi-Fi 電源の入れ直しの実施方法についての手順を示します。

① **メモ**: 一部の ISP (インターネット サービス プロバイダ) はモデム/ルータ コンボ デバイスを提供しています。

- 1 コンピューターの電源を切ります。
- 2 モデムの電源を切ります。
- 3 ワイヤレス ルータの電源を切ります。
- 4 30 秒待ちます。

- 5 ワイヤレス ルータの電源を入れます。
- 6 モデムの電源を入れます。
- 7 コンピュータの電源を入れます。

待機電力の放出

待機電力とは、コンピュータの電源をオフにしてバッテリーを取り外した後もコンピュータに残っている余分な静電気を指します。次の手順は、待機電力の放出方法を説明したものです。

- 1 コンピュータの電源を切ります。
- 2 電源アダプタをコンピュータから外します。
- 3 電源ボタンを 15 秒間長押しして、待機電力を逃がします。
- 4 電源アダプタをコンピュータに接続します。
- 5 コンピュータの電源を入れます。

「困ったときは」と「デルへのお問い合わせ」

セルフヘルプリソース

セルフヘルプリソースを使ってデルの製品とサービスに関するヘルプ情報を取得できます。

表 15. セルフヘルプリソース

デルの製品とサービスに関する情報

www.dell.com

Dell ヘルプとサポート アプリ



ヘルプへのアクセス

Windows 検索に、Help and Support と入力し、<Enter> を押します

オペレーティングシステムのオンラインヘルプ

www.dell.com/support/windows

トラブルシューティング情報、ユーザズガイド、セットアップ方法、製品仕様、テクニカルサポートブログ、ドライバ、ソフトウェアのアップデートなどは、

www.dell.com/support

コンピュータのさまざまな問題に関するデルのナレッジベースの記事。

- 1 www.dell.com/support にアクセスします。
- 2 **Search (検索)** ボックスに件名またはキーワードを入力します。
- 3 **Search (検索)** をクリックして、関連記事を取得します。

お使いの製品について、次の情報を把握します。

www.dell.com/support/manuals の『*Me and My Dell*』(私とマイデル) を参照してください

- 製品仕様
- オペレーティングシステム
- 製品のセットアップと使用
- データのバックアップ
- トラブルシューティングと診断
- 工場出荷時の状態とシステムの復元
- BIOS 情報

お使いの製品に関する *Me and My Dell* (私とマイデル) を探すには、次のいずれかの方法で製品を特定します。

- **Detect Product (製品を検出)** を選択します。
- **View Products (製品の表示)** のドロップダウンメニューで製品を見つけます。
- 検索バーに、**Service Tag number (サービスタグナンバー)** または **Product ID (プロダクト ID)** を入力します。

デルへのお問い合わせ

販売、テクニカルサポート、カスタマーサービスに関するデルへのお問い合わせは、www.dell.com/contactdell を参照してください。

① **メモ:** 各種サービスのご提供は国や製品によって異なり、国によってはご利用いただけないサービスもございます。

① **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。